東北学院大学
文部科学省 令和７年度「全国学生調査」結果報告

－西南学院大学、全国結果との比較-

2026年10月

東北学院大学

高等教育開発室

政策支援ＩＲ課

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

目次

1. 本報告書の目的
2. 全国学生調査とは
   - 調査概要
   - 設問一覧
   - 令和７年度「全国学生調査」 実施概要
3. 東北学院大学の結果
   - 東北学院大学の【ポジティブ項目】と【ネガティブ項目】
   - 各設問の結果

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

１．本報告書の目的

- 令和７年度「全国学生調査」について、本学及び西南学院大学(※)の調査結果、並びに全国平均を比較・分析することで、それぞれの強みと改善の余地を客観的に把握し、教育改善に向けた示唆を得ることを目的とする。

※東北学院大学と西南学院大学は、「内部質保証のための共同IRに関する協定」を締結している

3つのデータを収集
東北学院大学の結果
西南学院大学の結果
全国平均

※東北学院大学の結果は、全学及び文系学部のみ（西南学院大学との比較のため）を掲載

共同IR活動として相互に分析
三つの結果を比較・分析
取り組み事例の共有
客観的な視点で整理

教育改善への示唆
強みの発見
改善の余地の把握
相互の学び

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

※共同IRによる東北学院大学・西南学院大学の比較対象

- 西南学院大学との比較では、東北学院大学の理系学科を除いた集計結果を用いて比較を行った。

東北学院大学（理系を除く）と西南学院大学の比較対象学科

学科グループ	東北学院大学	西南学院大学
宗教系	総合人文学科	神学科
外国語・国際系	英文学科 国際教養学科	外国語学科
商・経営系	経営学科	経営学科 商学科
経済系	経済学科 共生社会経済学科	経済学科 国際経済学科
法律系	法律学科	法律学科 国際関係法学科
教育系	教育学科	児童教育学科
地域・社会福祉系	地域コミュニティ学科 政策デザイン学科 地域構想学科	社会福祉学科
心理系	心理行動科学科 人間科学科	心理学科
文化・歴史系	歴史学科 言語文化学科	国際文化学科
工学系（比較なし）	機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 データサイエンス学科 情報科学科 情報基盤工学科	

※【東北学院大学】
(1) 経済学部（共生社会経済学科）、教養学部（人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構想学科）は2022年度募集停止のため４年生のみ
(2) 地域総合学部（地域コミュニティ学科、政策デザイン学科）、情報学部（データサイエンス学科）、人間科学部（心理行動科学科）、国際学部（国際教養学科）は2023年度開設のため２年生のみ

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

２．全国学生調査とは

- **文部科学省が実施**する全国共通の学生調査。
- 学生目線から大学教育や学びの実態を把握し、**国の政策立案や各大学の教育改善に活用すること**を目的としている。
- 2024年度までに試行実施が4回あり、2025年度調査が**初めての本格実施**。
- 各大学に在籍する2年生及び最終学年生(本学では4年生)が対象。
- 今後は**認証評価**（「新たな評価」）においても活用される予定。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

令和７年度「全国学生調査」質問項目

問１ 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。
（選択肢：④よくあった、③ある程度あった、②あまりなかった、①なかった）

1-1. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。
1-2. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。
1-3. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
1-4. グループワークやディスカッションの機会がある。
1-5. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
1-6. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

問２大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だ問２大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⓪を選択してください。
（選択肢：④有用だった、③ある程度有用だった、②あまり有用ではなかった、①有用ではなかった、⓪経験していない）

2-1. インターンシップ（５日間以上）
2-2. 海外留学・海外研修（短期も含む）
2-3. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）

問３大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。
（選択肢：④身に付いた、③ある程度身に付いた、②あまり身に付いていない、①身に付いていない）

3-1. 専門分野に関する知識・理解
3-2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
3-3. 文献・資料を収集・分析する力
3-4. 論理的に文章を書く力
3-5. 人に分かりやすく話す力
3-6. 外国語を使う力
3-7. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
3-8. 問題を見つけて解決方法を考える力
3-9. 他者と協働する力
3-10. 幅広い知識、ものの見方
3-11. 異なる文化に関する知識・理解

問４これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。
（選択肢：④そう思う、③ある程度そう思う、②あまりそうは思わない、①そうは思わない）

4-1. 卒業時までに身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。
4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。
4-4. 大学の学びによって成長を実感している。

問５今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。
（選択肢：①0時間、②1-5時間、③6-10時間、④11-15時間、⑤16-20時間、⑥21-30時間、⑦31時間以上）

5-1. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）
5-2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作※４年生のみ
5-3. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）
5-4. 授業と直接関係しない自主的な学習
（学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）
5-5. 部活動／サークル活動
5-6. アルバイト／定職

問６本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。
（自由記述）

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

令和７年度全国学生調査　実施概要（１）

＜全体の回答状況＞

対象	参加校数	参加校に属する学部数	参加校に属する対象学生数（A）		参加校に属する対象学生数のうち有効回答数（B）		有効回答率（B/A）
			2年生	4年生以上	2年生	4年生以上	合計
大学	734校	2,949学部	618,048人	647,957人	167,184 (27.1%)	152,515 (23.5%)	25.3%

＜有効回答率別の大学数・学部数＞

有効回答率	参加校数
80%以上	66校
60%以上80%未満	85校
40%以上60%未満	132校
20%以上40%未満	167校
10%以上20%未満	117校
10%未満	167校

＜設置者※別の回答状況＞

区分	参加校数	参加校に属する学部数	参加校に属する対象学生数（A）	有効回答数（B）	有効回答率（B/A）
国立	81校	504学部	215,532人	59,772	27.7%
公立	91校	244学部	67,380人	20,714	30.7%
私立	562校	2,201学部	983,093人	239,213	24.3%

※人数については、学部２年生と最終学年の在籍者数の合計

＜大学規模※別の回答状況＞

大学規模	参加校数	参加校に属する対象学生数（A）	有効回答数（B）	有効回答率（B/A）
2,000人以上	188校	905,242人	188,773	20.9%
2,000人未満 1,000人以上	116校	169,379人	55,141	32.6%
1,000人未満 500人以上	165校	118,001人	47,022	39.9%
500人未満	265校	73,383人	28,763	39.2%

※人数については、学部２年生と最終学年の在籍者数の合計

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

令和７年度「全国学生調査」 実施概要（２）

東北学院大学

実施時期

2025/9/8（月）～2025/10/3（金）

実施方法

参加大学が実施する学生調査（方法②）

※大学独自の学生調査（「2025年度前期学修行動と学生生活に関する実態調査」）の中に本調査の質問項目を設定

回答者/ 母数（理系学科除く）・回答率

- (全体) 1,491名 / 4,686名・**31.8%**
- (2年生) 981名 / 2,436名・40.3%
- (最終学年) 510名 / 2,250名・22.7%

回答者/ 母数・回答率（全体）

- (全体) 1,867名 / 5,797名・**32.2%**
- (2年生) 1,232名 / 3,012名・40.9%
- (最終学年) 635名 / 2,785名・22.8%

西南学院大学

実施時期

2025/11/17（月）～2025/12/22（月）

実施方法

参加大学が実施する学生調査（方法②）

※大学独自の学生調査の中に本調査の質問項目を設定

回答者/ 母数・回答率

- (全体) 2,609名/ 4,032名・**64.7%**
- (2年生) 1,236名/ 2,010名･61.5%
- (最終学年) 1,373名/ 2,022名･67.9%

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

３．東北学院大学の結果

【総括】

令和７年度「全国学生調査」の結果に関して、本学、西南学院大学及び全国の結果を比較し、特徴的な結果があらわれた項目について、紹介する。

- **【東北学院大学の強み・評価が高い項目（ポジティブ項目）】**
- **【東北学院大学の今後の課題・改善を図る項目（ネガティブ項目）】**

各項目で確認できた課題などについては、今後、さらに要因の分析を行い、
両大学の取り組み事例も参考にして、FD活動等の取り組みにより改善につなげていく。

※令和７年度は、文部科学省から「ポジティブリスト」は公開されていない。
（参考）令和６年度ポジティブリストについては以下ページを参照
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/info/top/251027-4.html

※西南学院大学との比較に際しては、「東北学院大学（理系除く）」のデータを使用している（P.4）

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

【東北学院大学の強み・評価が高い項目（ポジティブ項目）】（１）

- **「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される」（問1-3）　…P.18**
  - 特に２年生について、全国平均、西南学院大学と比べて非常に良いスコアとなっている。
  - 課題等の提出物について、教員から授業内でのコメントやLMSでのフィードバックなどが丁寧に行われていると評価された。

- **「ティーチング・アシスタント等による補助的な指導がある」（問1-6）　…P.21**
  - ２年生で、西南学院大学と比較して高いスコアとなった。
    最終学年（４年生）では全国平均とほぼ同等のスコアとなっている。
  - 本学では、大学院生のTA（ティーチング・アシスタント）の他、学部生のSA（スチューデント・アシスタント）を活用している。必修科目においてSAを活用しているため、身近な学習サポート体制が定着していることが伺える。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

【東北学院大学の強み・評価が高い項目（ポジティブ項目）】（２）

- **「文献・資料を収集・分析する力」（問3-3）、「人に分かりやすく話す力」（問3-5）、「問題を見つけて解決方法を考える力」（問3-8）が身についた　…P.30、32、35**
  - これらの項目は、２年生において、全国平均、西南学院大学と比べて高いスコアとなった。
  - 教養教育科目である「TGベーシック」科目として、1年生で学ぶ「リーディング＆ライティング」や「クリティカル・シンキング」、２年生で学ぶ課題探究科目により、早い段階で大学での学修に必要なスキルの修得・向上が実感されていることがわかる。

- **「論理的に文章を書く力」（問3-4）、「数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」（問3-7）が身についた　…P.31、34**
  - ２年生、最終学年ともに全国平均、西南学院大学と比べて高いスコアとなっている。
  - 「TGベーシック」科目により、論理的思考力や文章作成能力などの修得・向上が実感されている。
  - また同じく「TGベーシック」科目として、データサイエンスに関する授業を実施し、「MDASH科目の一部である」と周知しています。学生が科目の目的や位置付けを認識して学修し、修得の実感につながっている。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

【東北学院大学の強み・評価が高い項目（ポジティブ項目）】（３）

- **「授業アンケート等の学生の意見を通じた大学教育の改善」の実感（問4-2）　…P.40**
  - ２年生、最終学年ともに、全国平均、西南学院大学と比べてポジティブな回答が多い結果となった。
  - 毎期末に全学生を対象に実施している「学修行動と学生生活に関する実態調査」等、学生アンケートの回答を大学執行部へ報告する機会があることが学生に認識され、肯定的に評価された。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

【東北学院大学の今後の課題・改善を図る項目（ネガティブ項目）】（１）

- **「海外留学・海外研修（短期含む）」の経験率、有用性の実感（問2-2）　…P.24、25**
  - ２年生、最終学年ともに、海外留学等を経験した割合や、参加したプログラムに対する有用性の実感が低い結果となった。
  - 参加しやすいプログラムとなるよう、内容の更なる充実や事前・事後指導の強化や支援など、参加者の増加や、参加学生の成果実感のさらなる向上に向けた取り組みが必要である。

- **「主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）」の経験率、有用性の実感（問2-3）　…P.26、27**
  - 英語で行われる授業の経験率については、全国平均、西南学院大学と比して大幅に低い結果となった。経験のある学生における有用度の実感については、全国平均、西南学院大学と同等の評価となっている。
  - 現状では、シラバスに「英語で行う」と明記してある科目は多くない。英語による指導環境の整備や、履修サポート体制などの検証により履修機会を増やすための取り組みが必要と考えている。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

【東北学院大学の今後の課題・改善を図る項目（ネガティブ項目）】（２）

- **４年生の「卒業論文・卒業研究・卒業制作」に費やす時間（問5-2）　…P.44**
  - 全国平均、西南学院大学と比して低い数値になった。これは2025年度は、9～10月に本調査を実施したことから、低い数値であったと考えられる。2026年度調査は後期に実施する。

- **「予習・復習・課題など授業に関する学修」の時間（問5-3）　…P.45**
  - 東北学院大学、西南学院大学ともに全国平均よりも授業外学修の時間は少ないことがわかった。
  - 授業外の自主的な学修時間が十分にとられていない現状が浮き彫りになっています。シラバスへの授業外学修の具体的な記載に加え、授業方法や課題設定の工夫、ラーニング・コモンズやAS（アカデミックサポーター）等の環境活用などを通して、主体的な学修態度のさらなる醸成を図りたい。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

各設問の結果

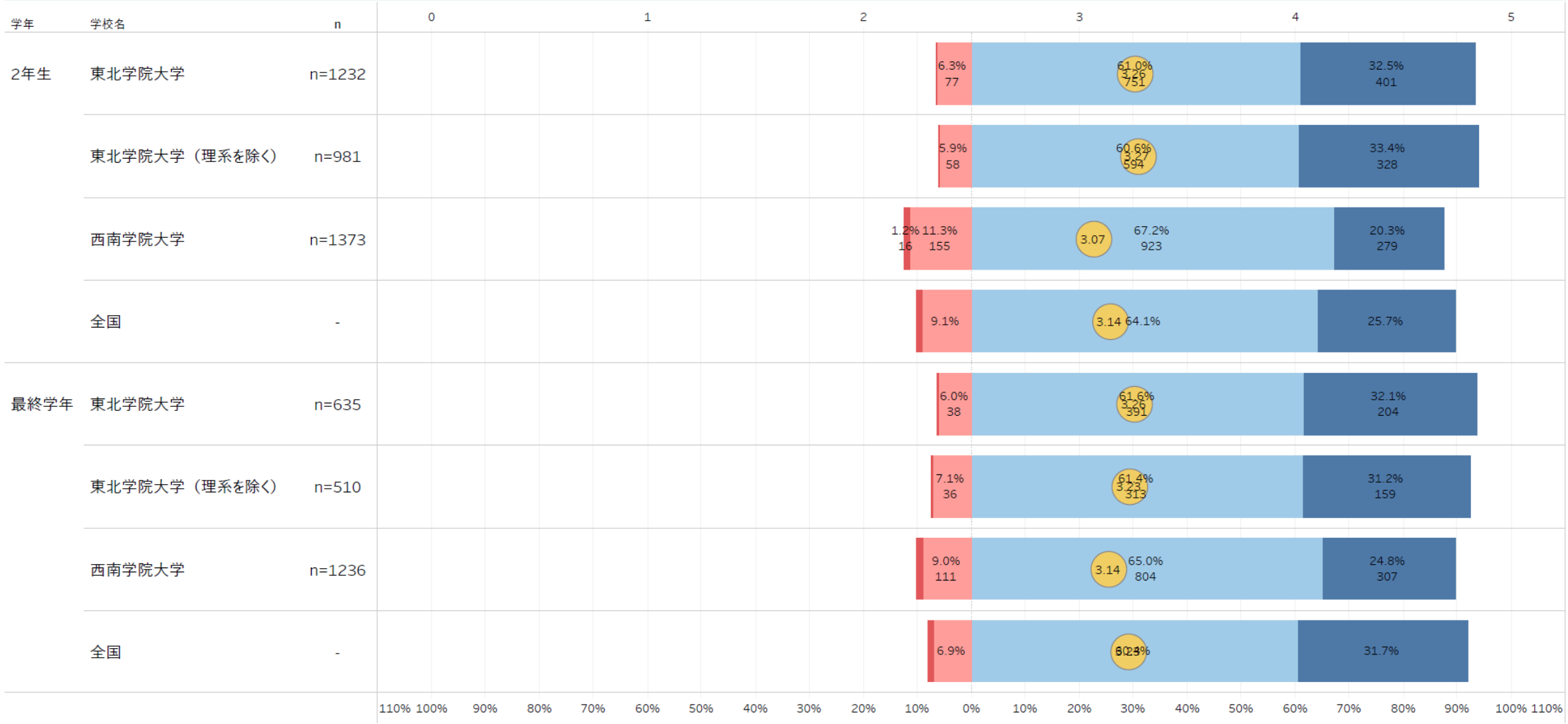
次ページ以降、各設問の結果を示す。

※資料作成にあたっては、西南学院大学 総合企画部 企画課 IR推進室に多大なご協力をいただいた。

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか

問1_1.理解がしやすいように教え方が工夫されていた



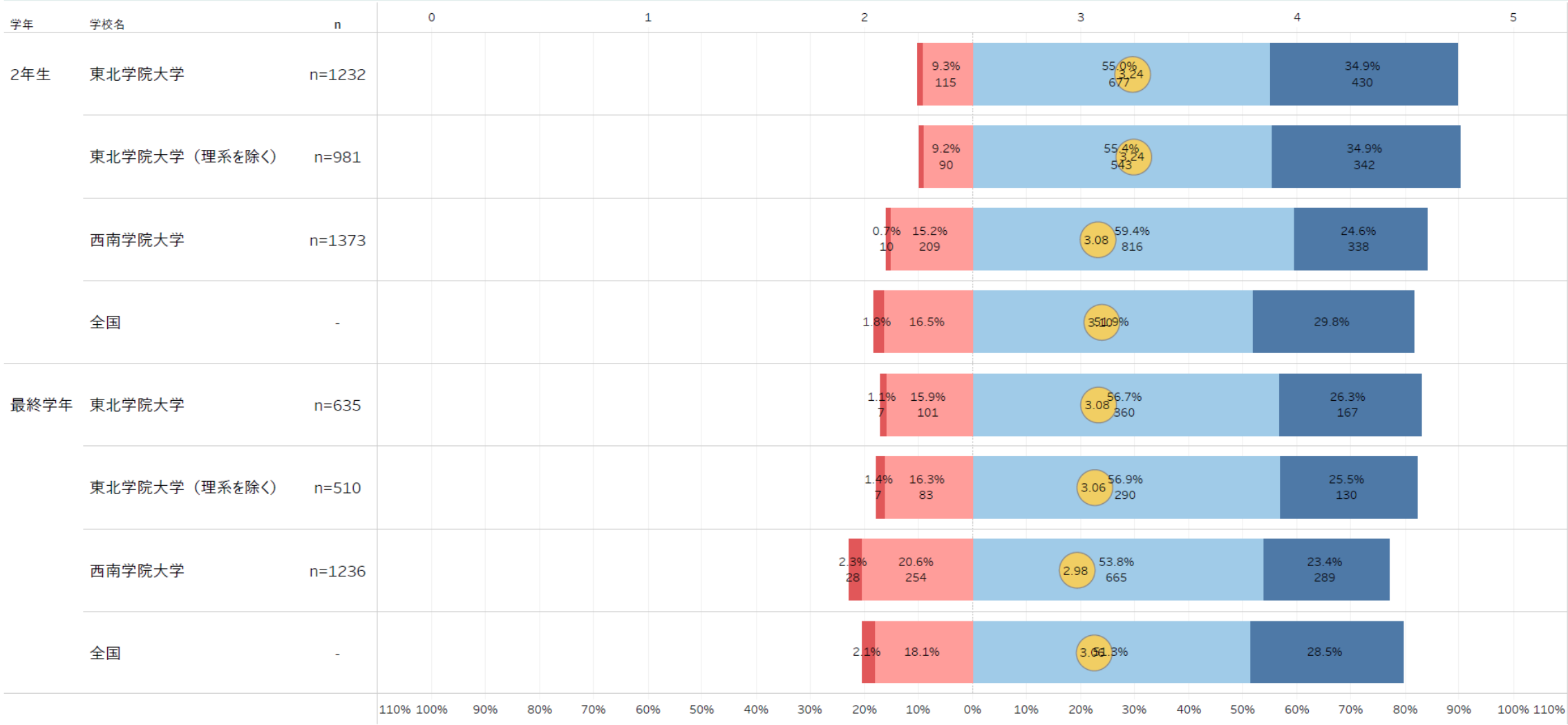
■なかった(1点) ■あまりなかった(2点) ■ある程度あった(3点) ■よくあった(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか
問1_2.予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される

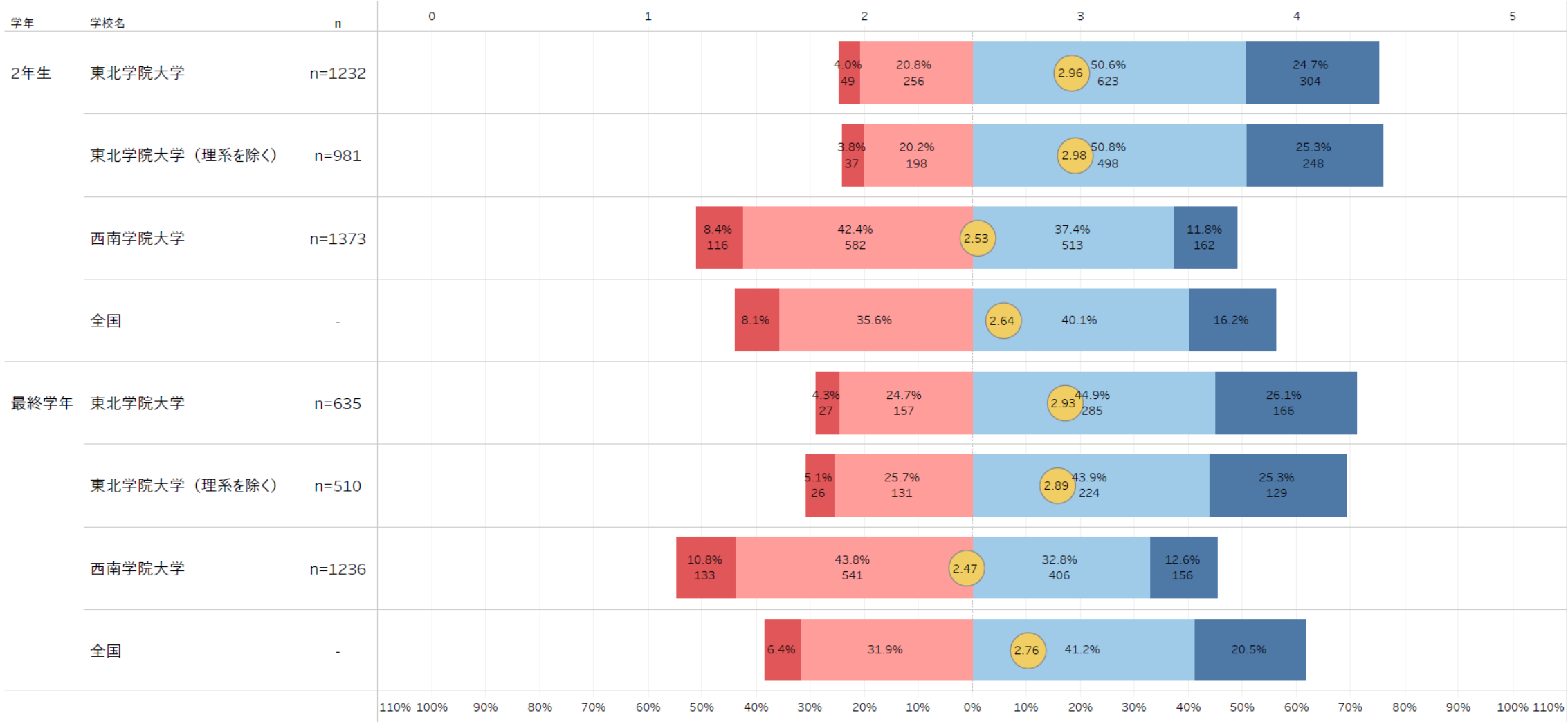


※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか

問1_3.課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される



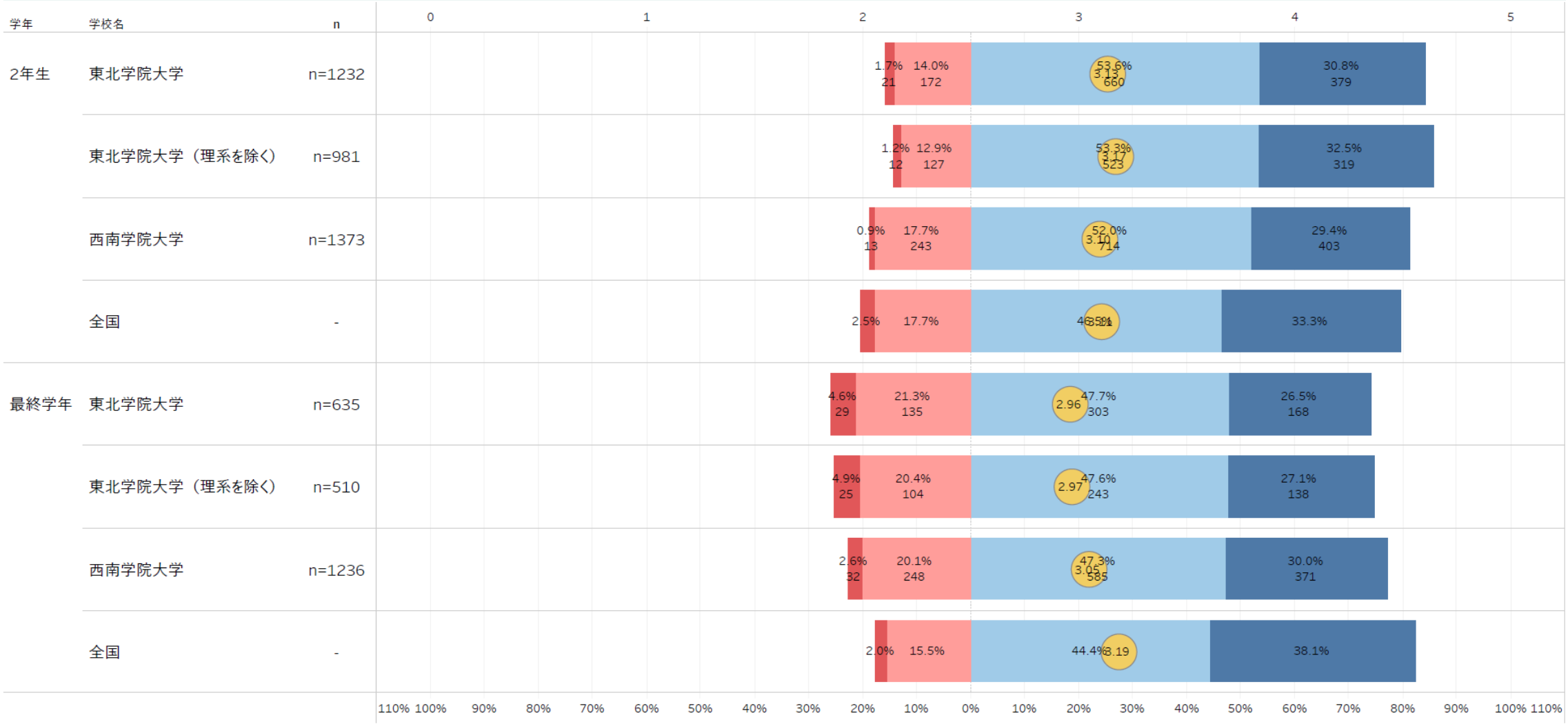
■なかった(1点)　■あまりなかった(2点)　■ある程度あった(3点)　■よくあった(4点)　●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか
問1_4.グループワークやディスカッションの機会がある



■なかった(1点)　■あまりなかった(2点)　■ある程度あった(3点)　■よくあった(4点)　●平均スコア

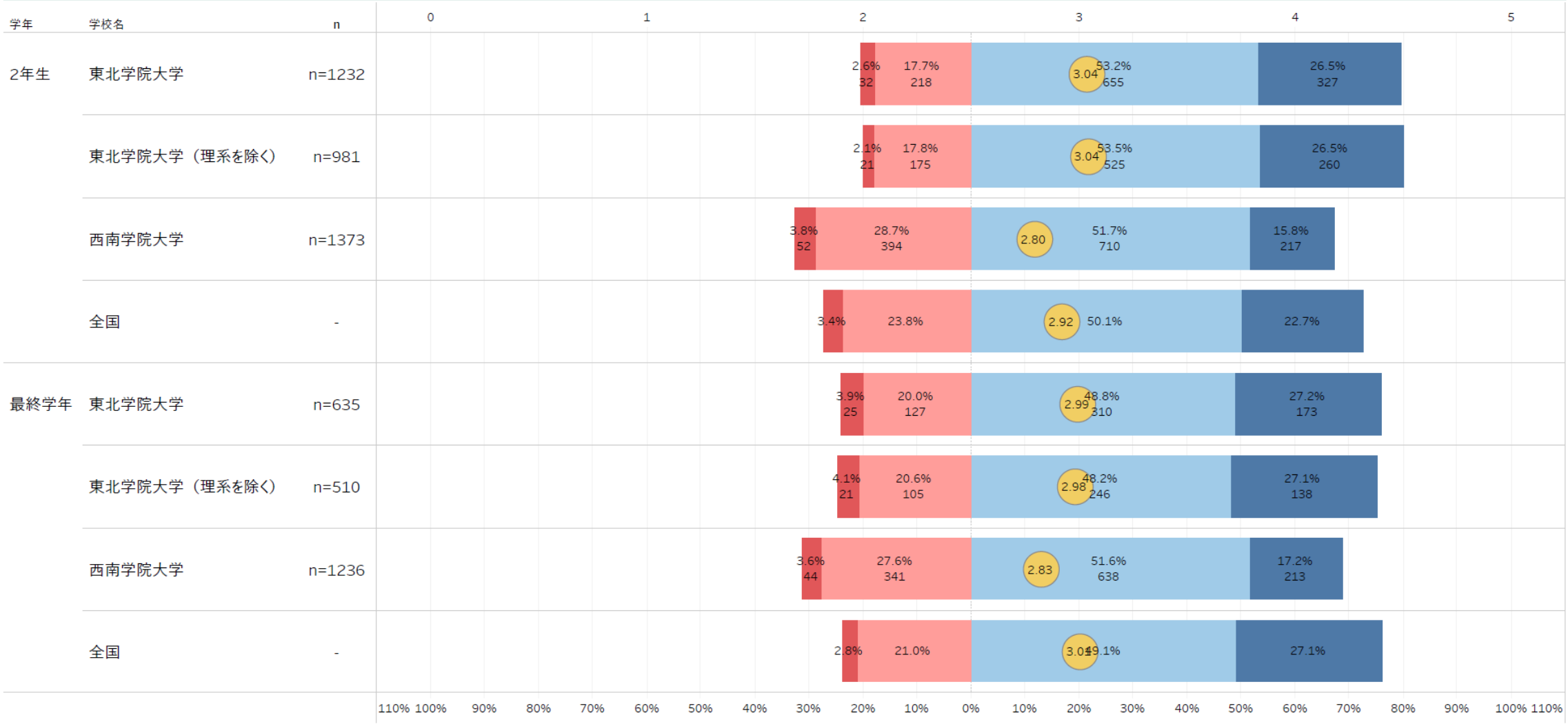
※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか

問1_5.質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある



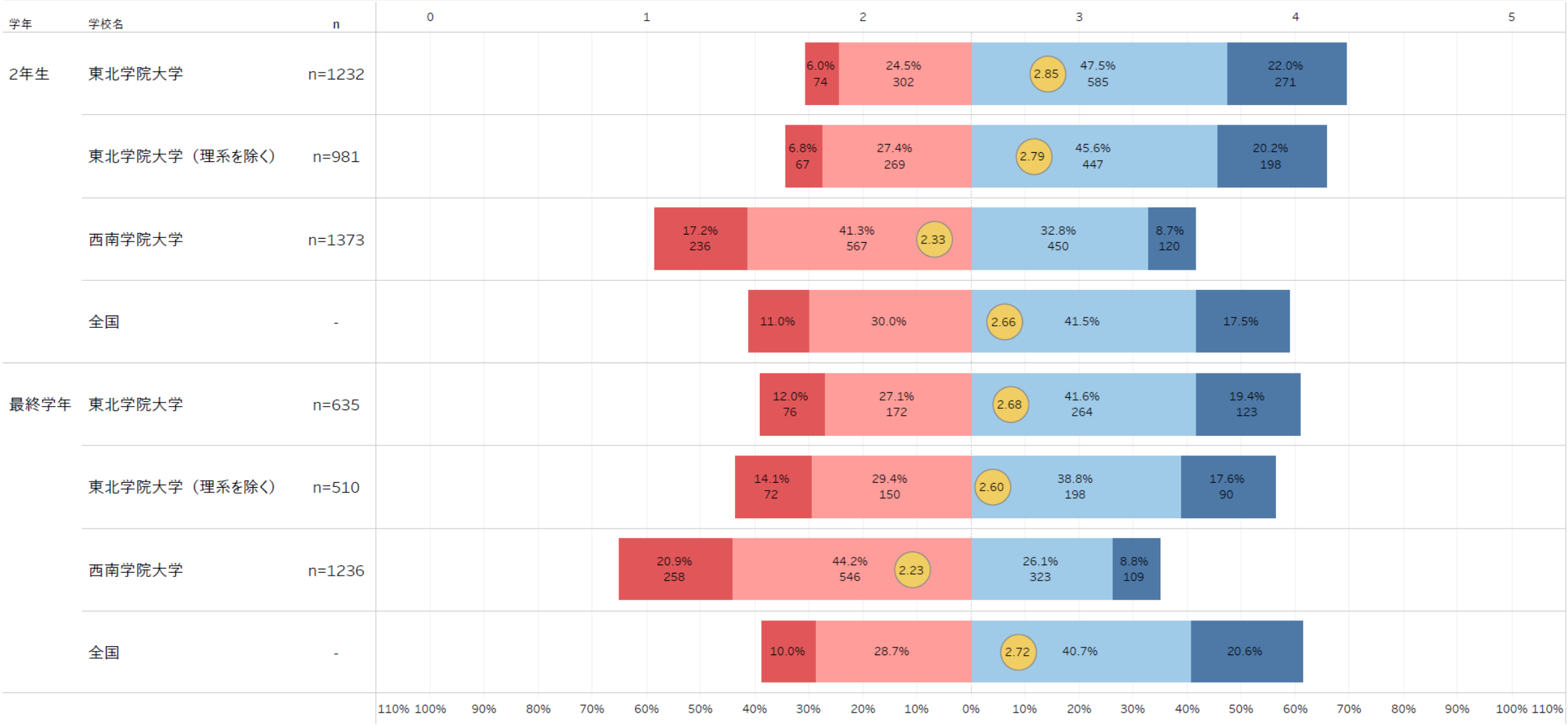
■なかった(1点)　■あまりなかった(2点)　■ある程度あった(3点)　■よくあった(4点)　●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか
問1_6.ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある



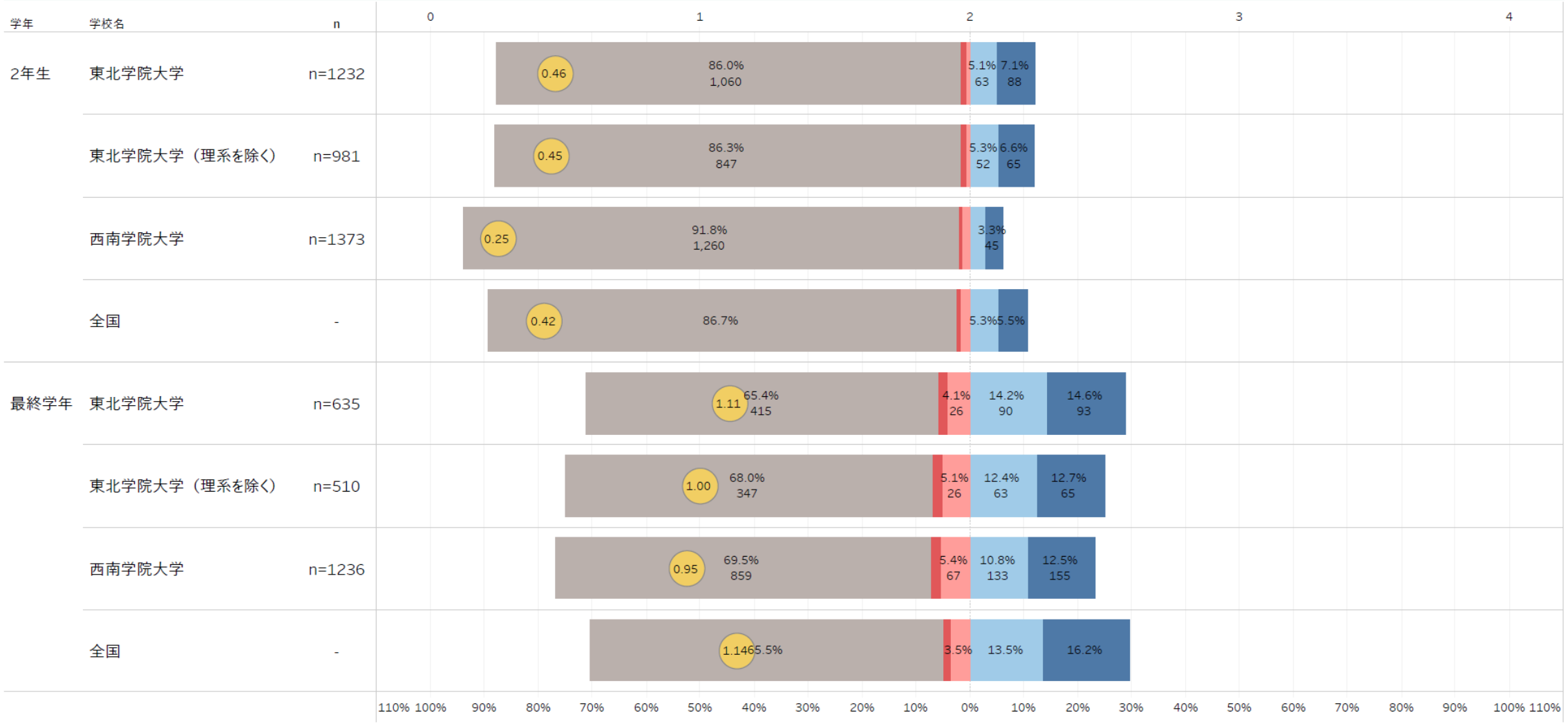
■なかった(1点) ■あまりなかった(2点) ■ある程度あった(3点) ■よくあった(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)
問2_1.インターンシップ（５日間以上）



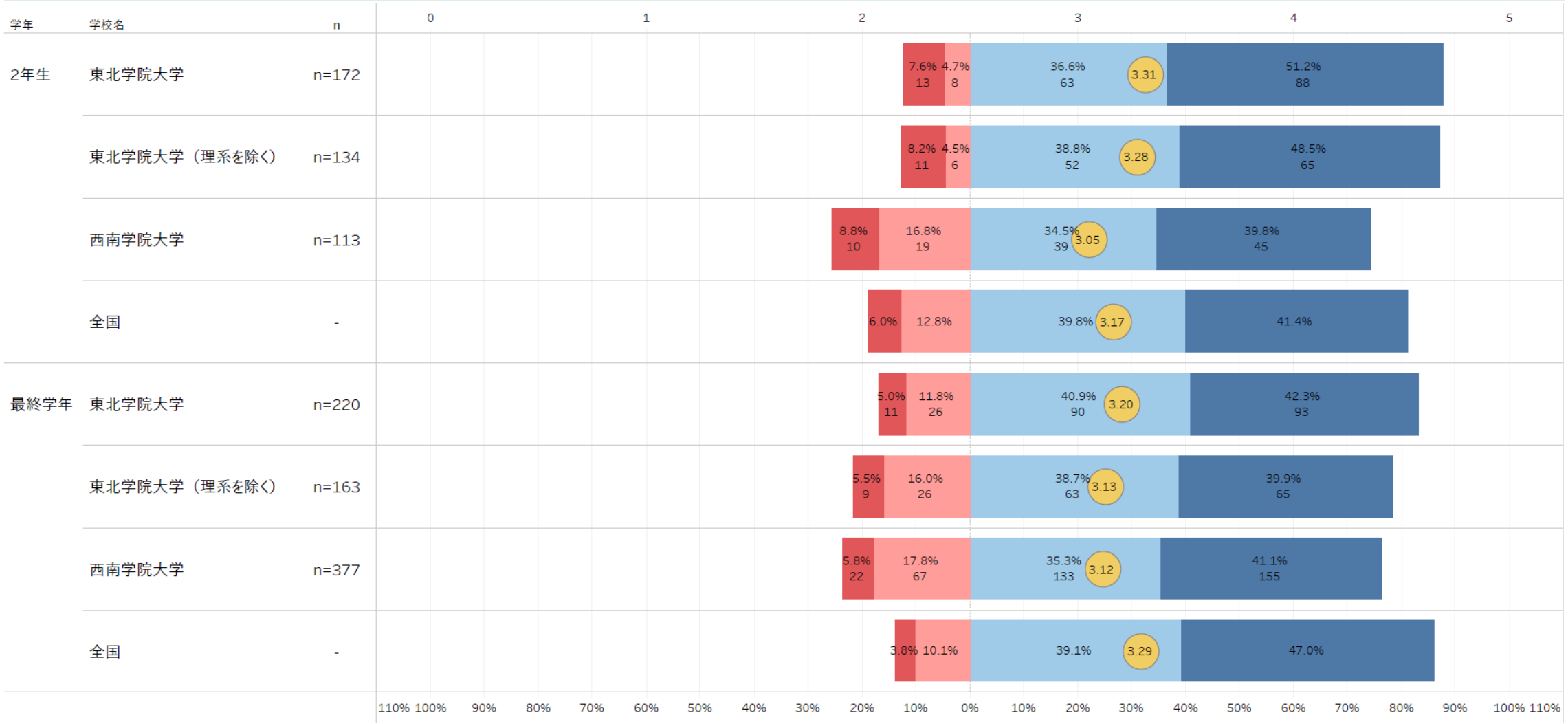
■経験していない(0点) ■有用ではなかった(1点) ■あまり有用ではなかった(2点) ■ある程度有用だった(3点) ■有用だった(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)（未経験を除く）
問2_1.インターンシップ（５日間以上）



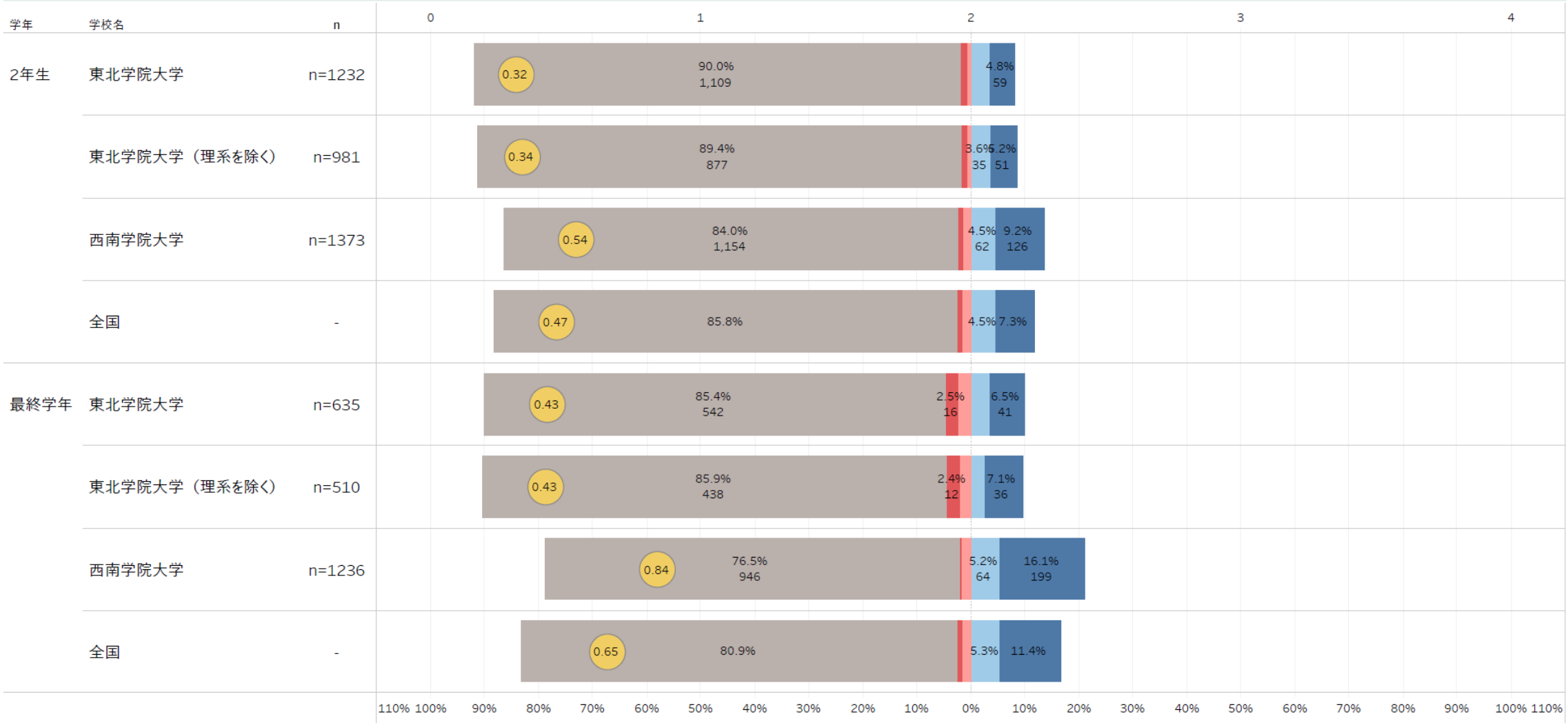
■有用ではなかった(1点)　■あまり有用ではなかった(2点)　■ある程度有用だった(3点)　■有用だった(4点)　●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

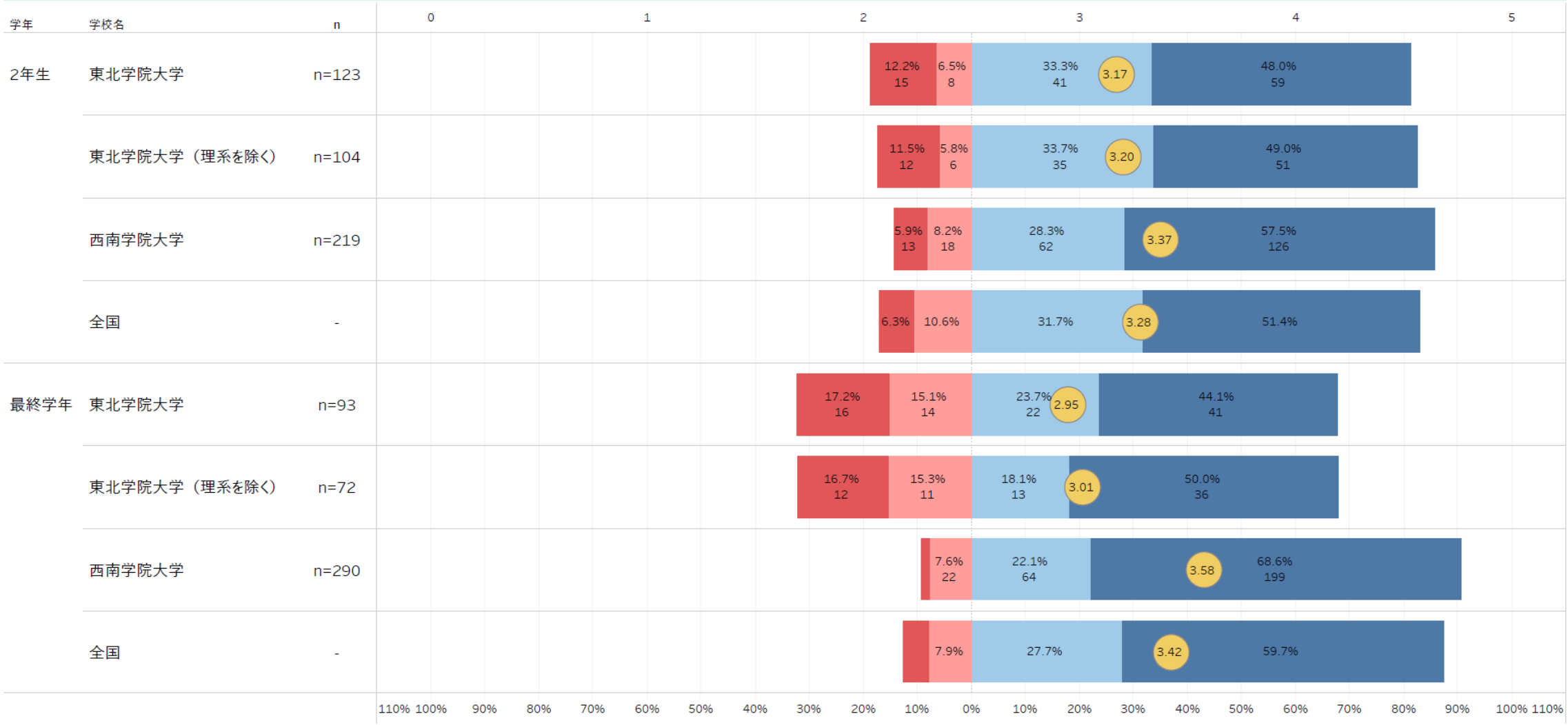
大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)
問2_2.海外留学・海外研修（短期も含む）



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

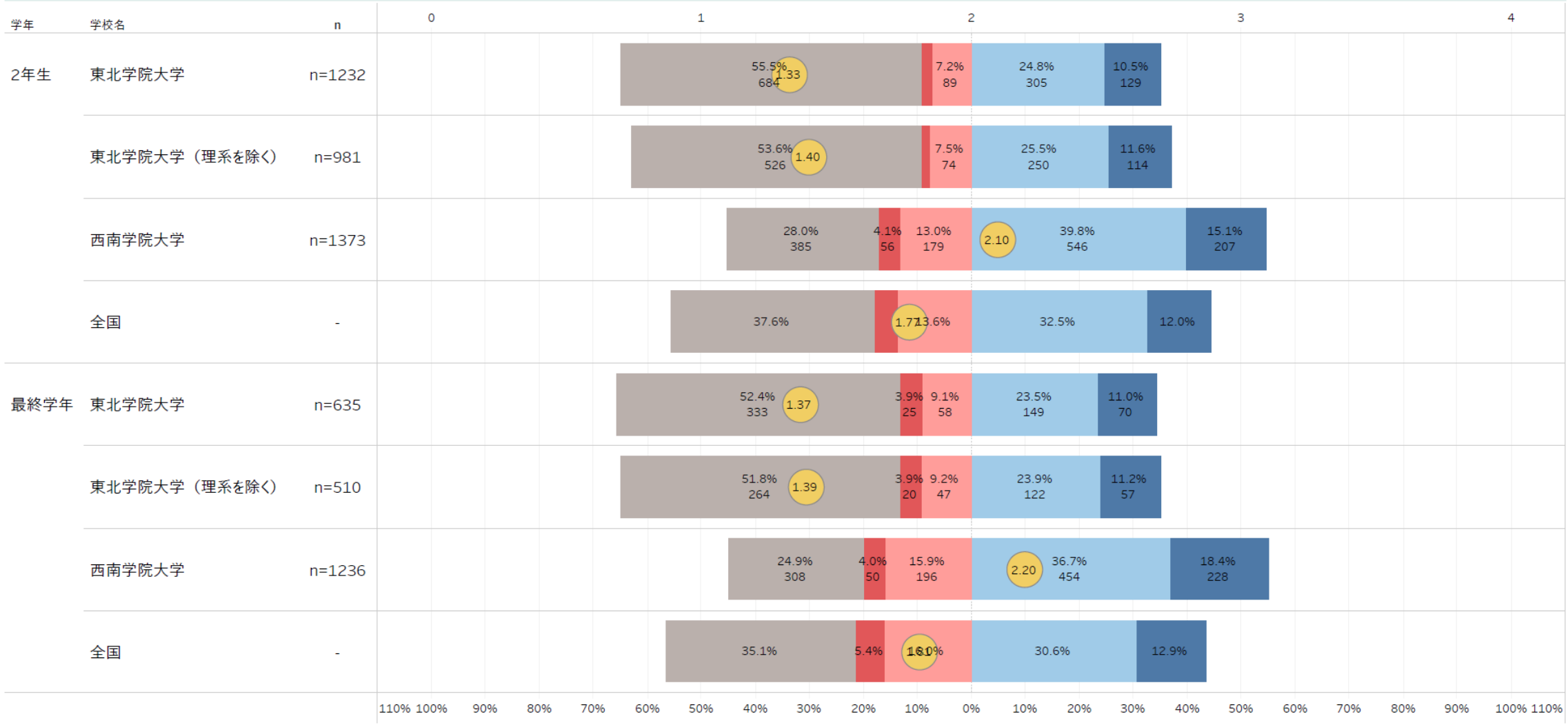
大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)（未経験を除く）
問2_2.海外留学・海外研修（短期も含む）



■有用ではなかった(1点)　■あまり有用ではなかった(2点)　■ある程度有用だった(3点)　■有用だった(4点)　●平均スコア
※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)
問2_3.主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



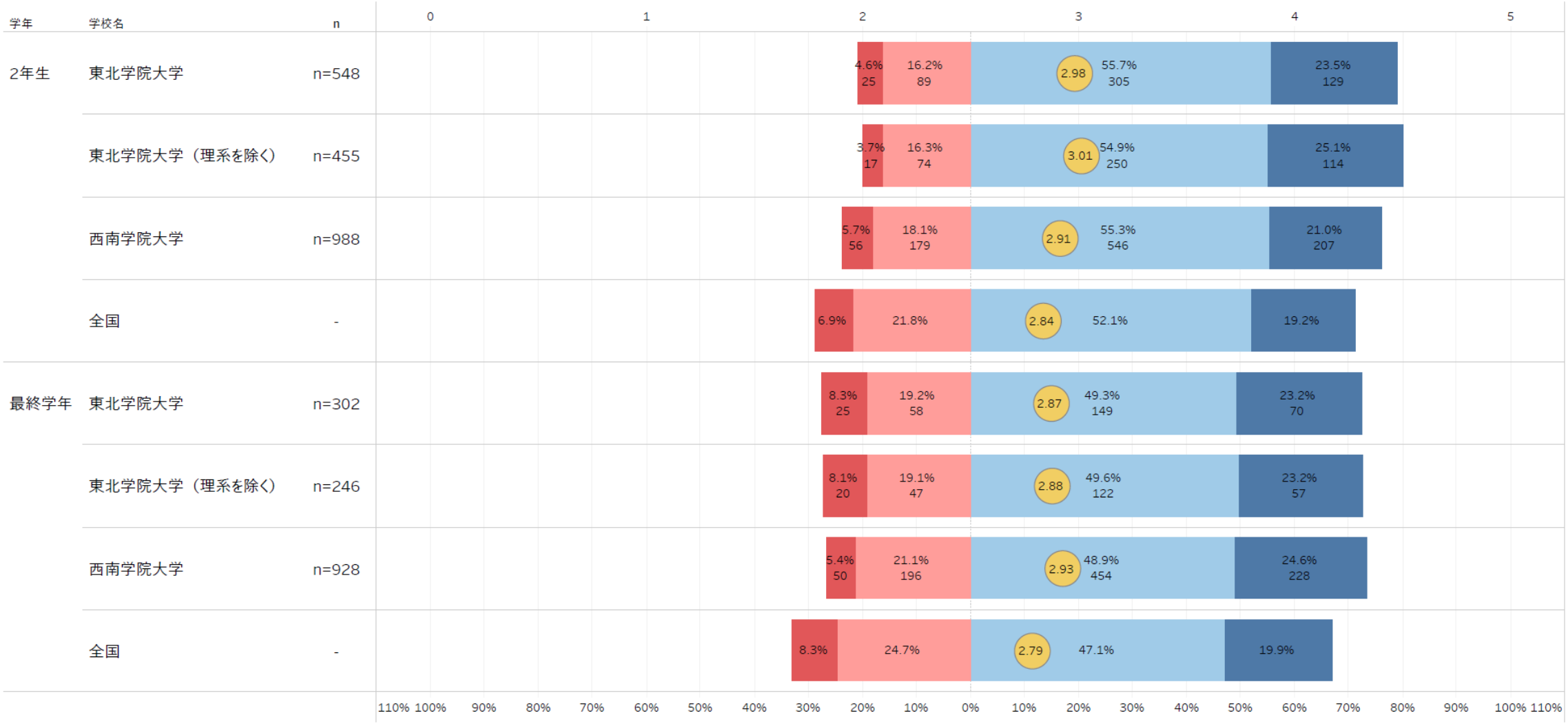
■経験していない(0点) ■有用ではなかった(1点) ■あまり有用ではなかった(2点) ■ある程度有用だった(3点) ■有用だった(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか(経験していない場合は0を選択してください)（未経験を除く）
問2_3.主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



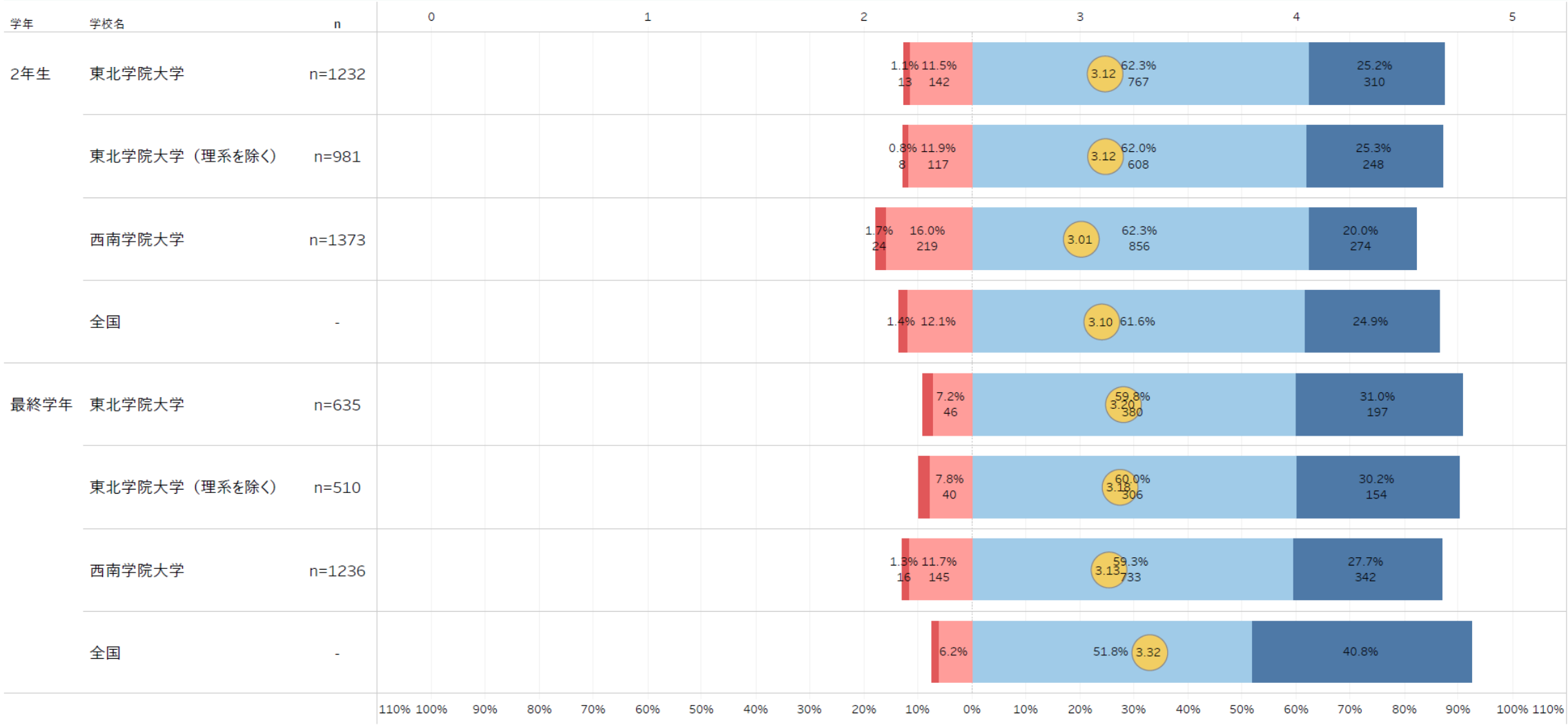
■有用ではなかった(1点) ■あまり有用ではなかった(2点) ■ある程度有用だった(3点) ■有用だった(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_1.専門分野に関する知識・理解



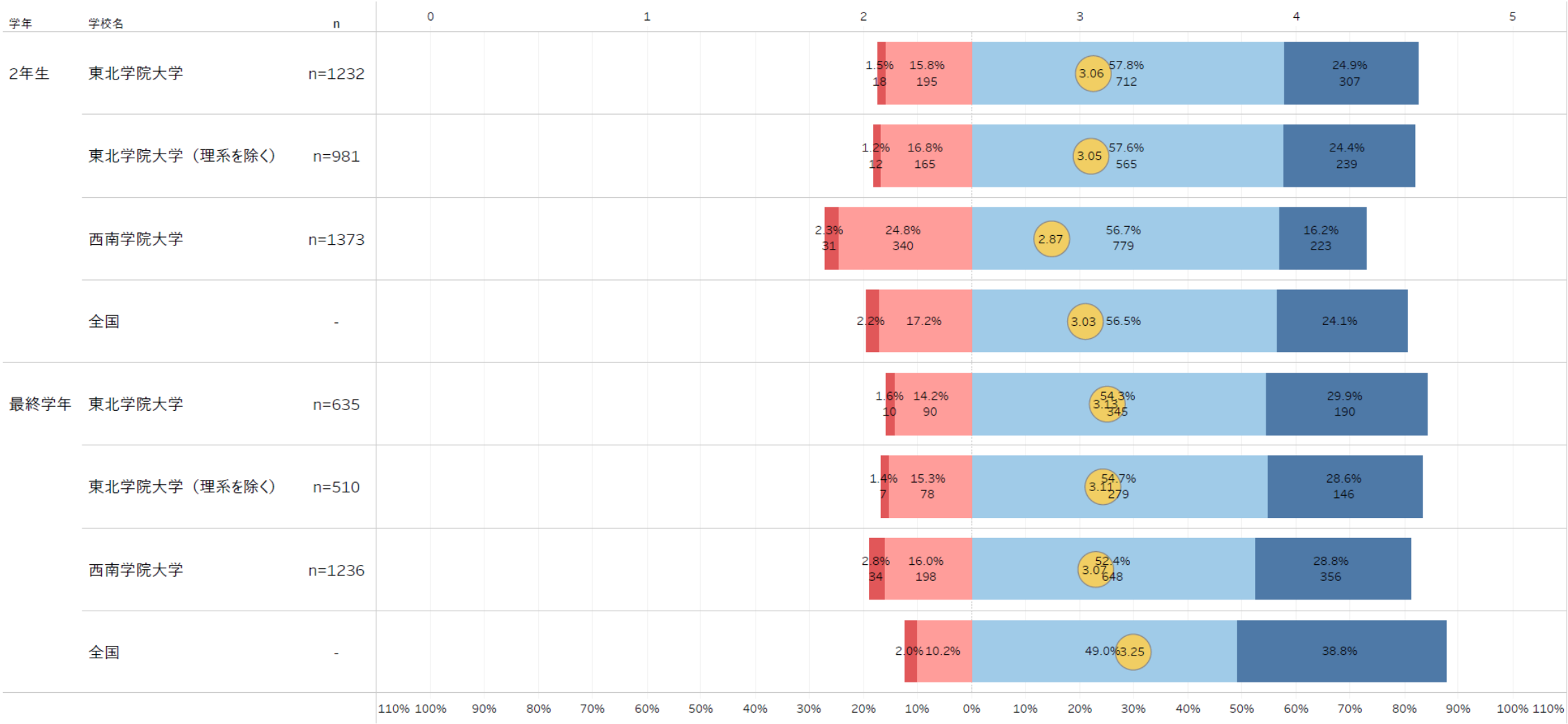
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_2.将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



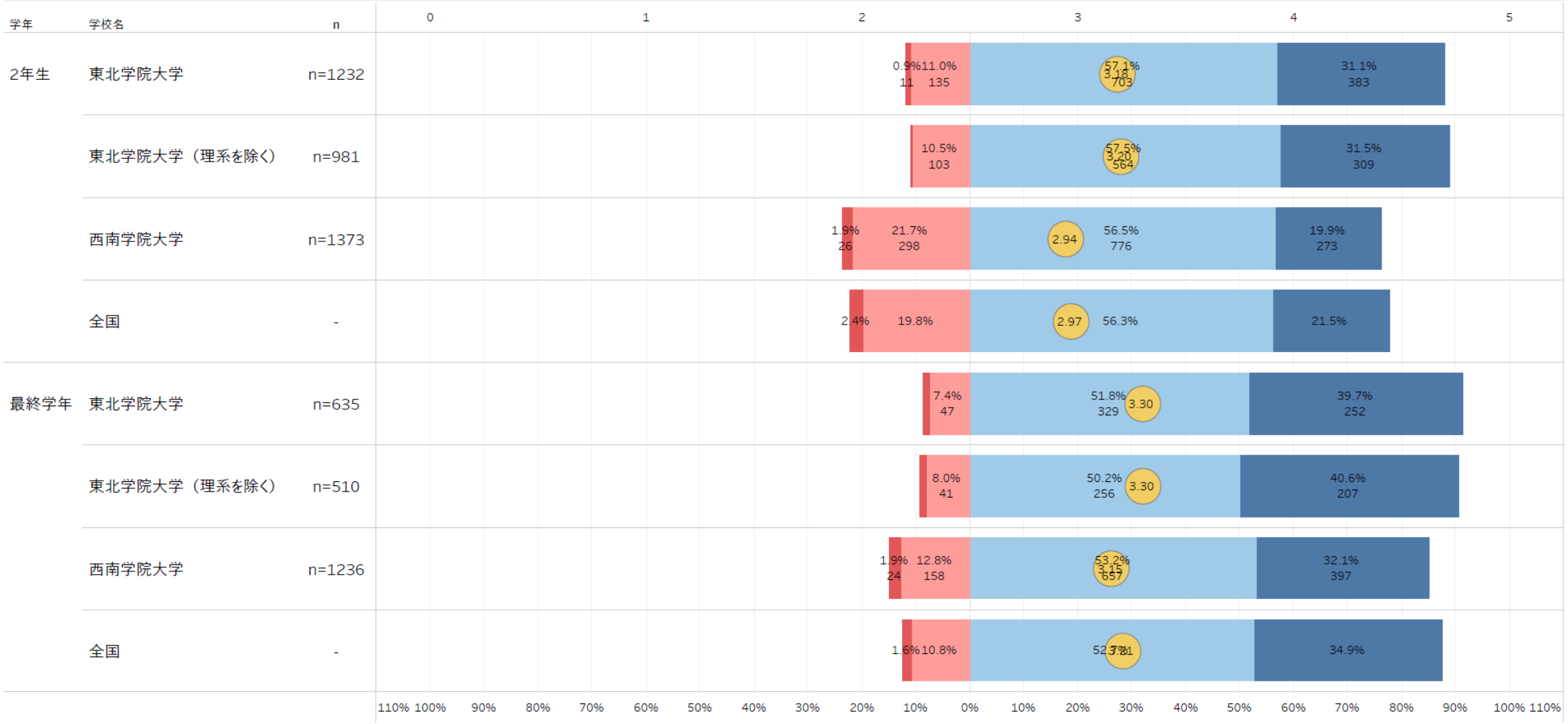
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_3.文献・資料を収集・分析する力



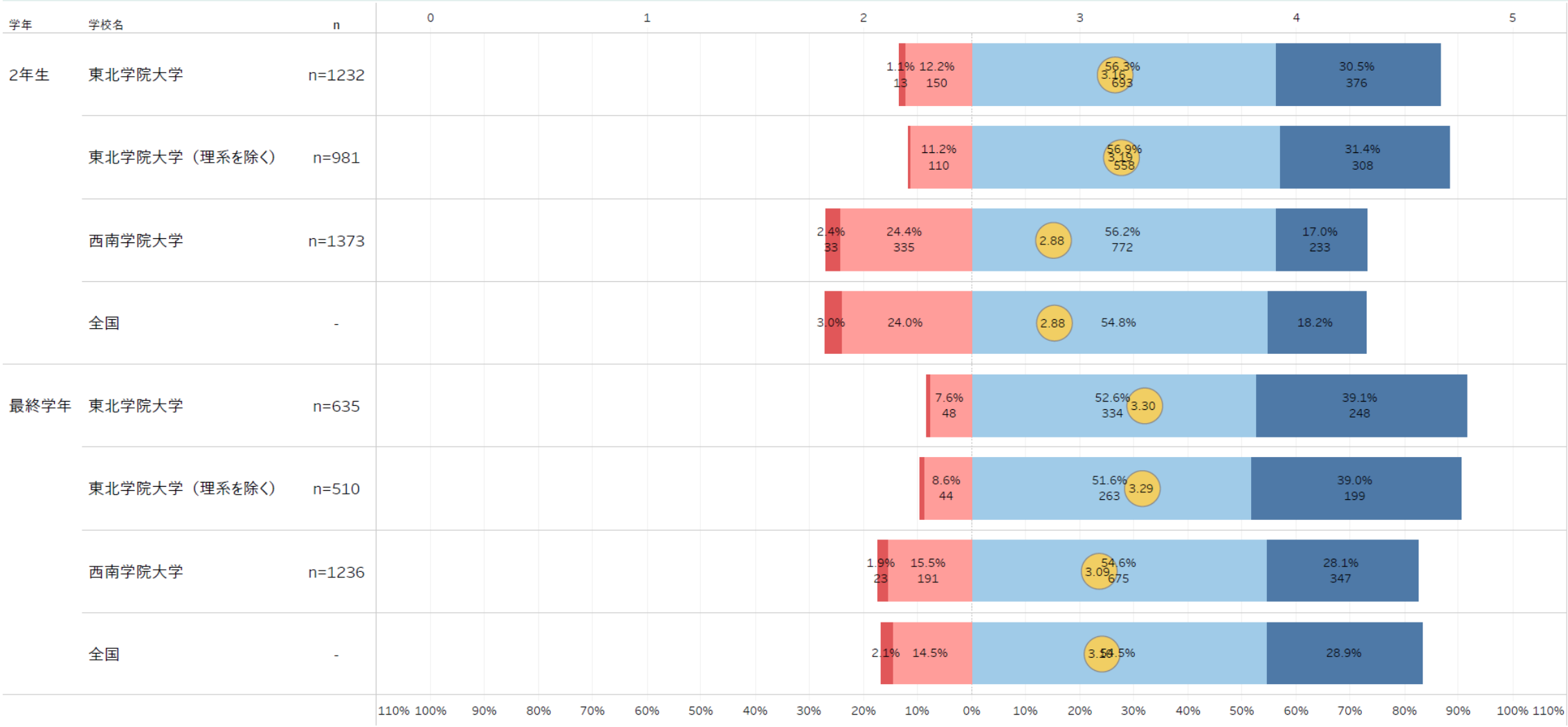
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_4.論理的に文章を書く力



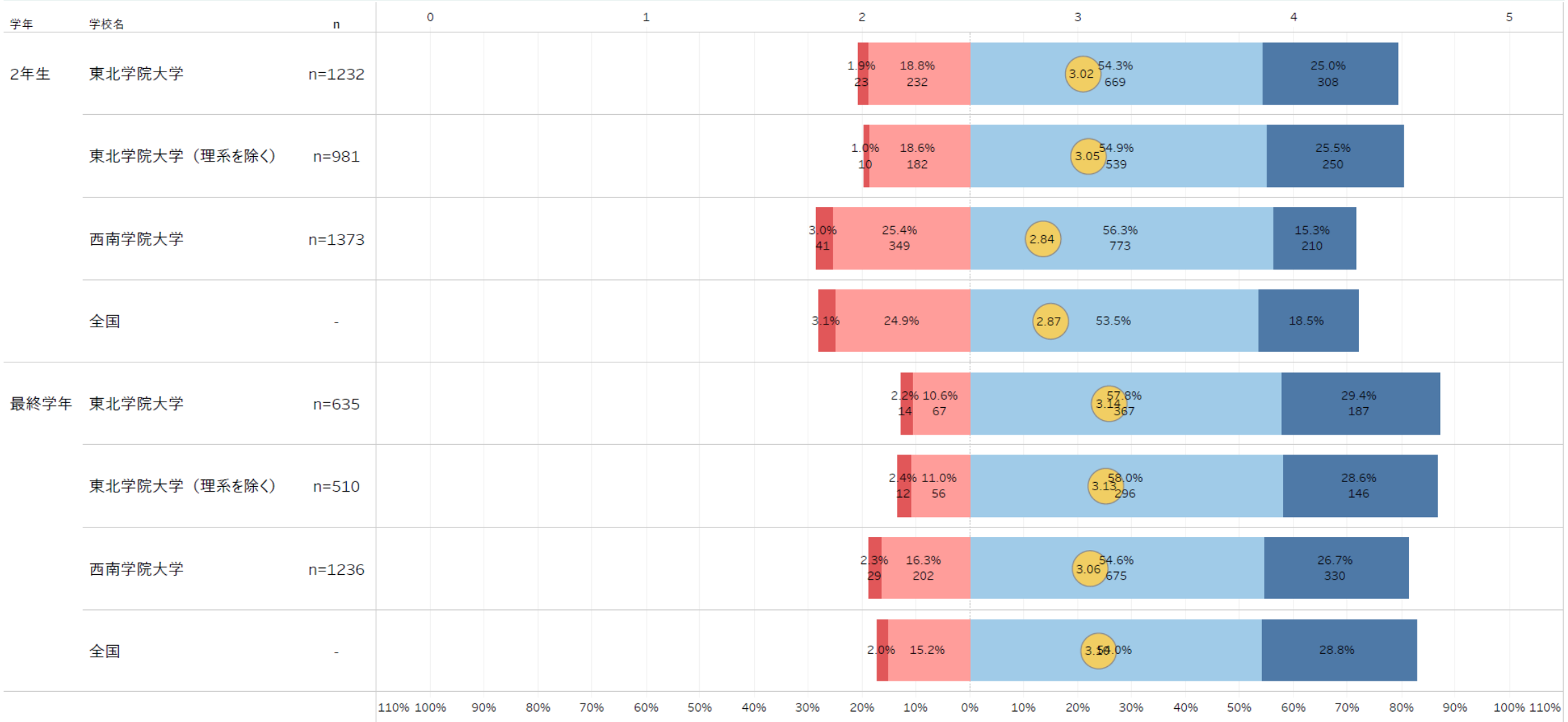
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_5.人に分かりやすく話す力



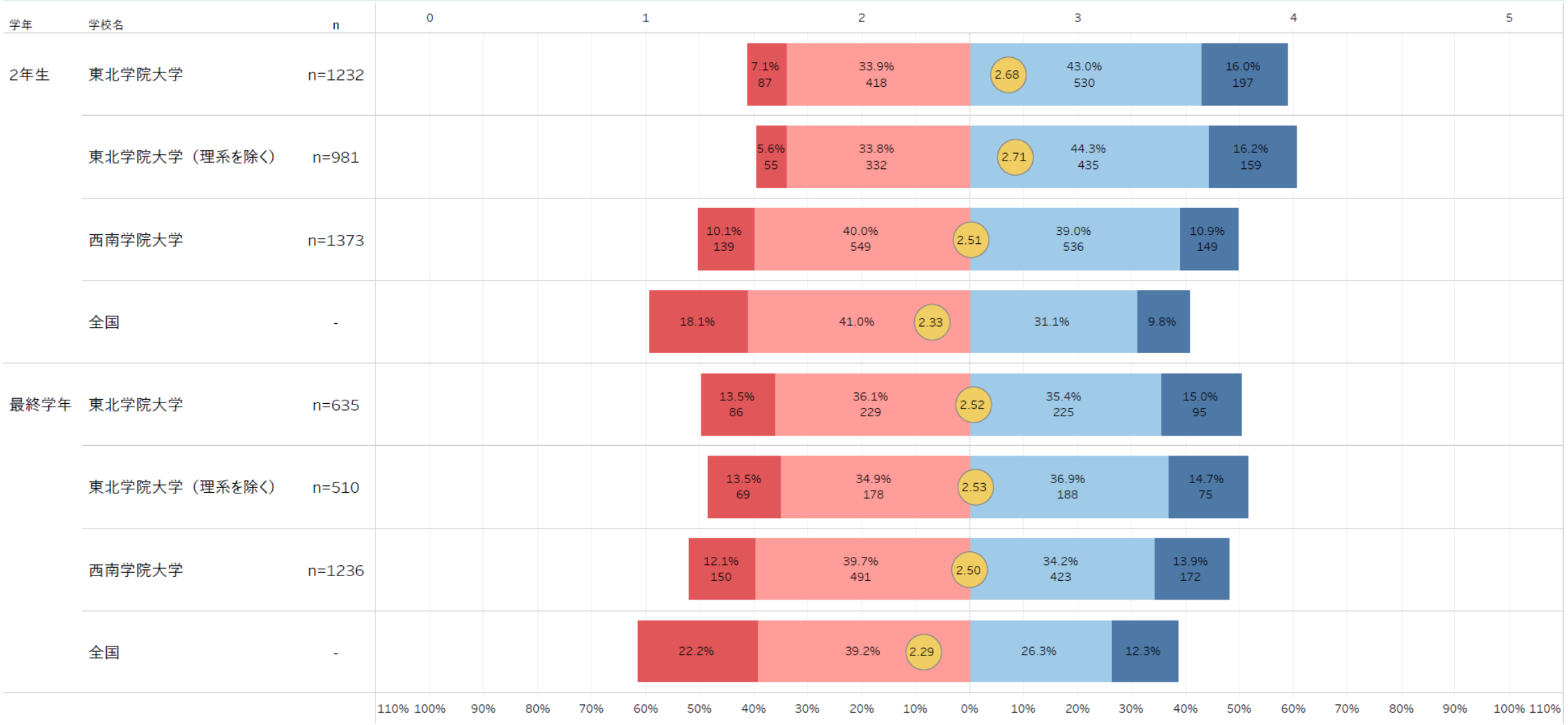
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_6.外国語を使う力



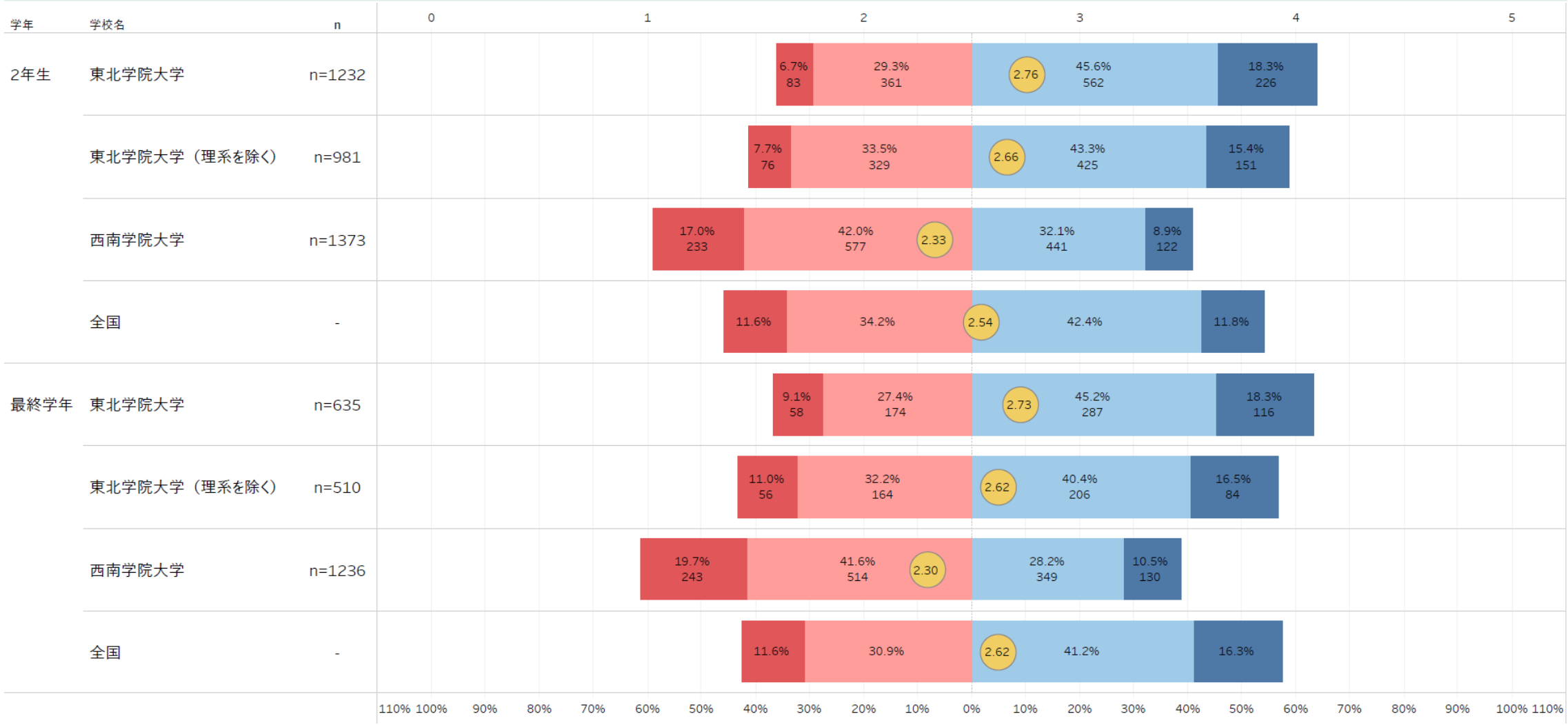
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_7.数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



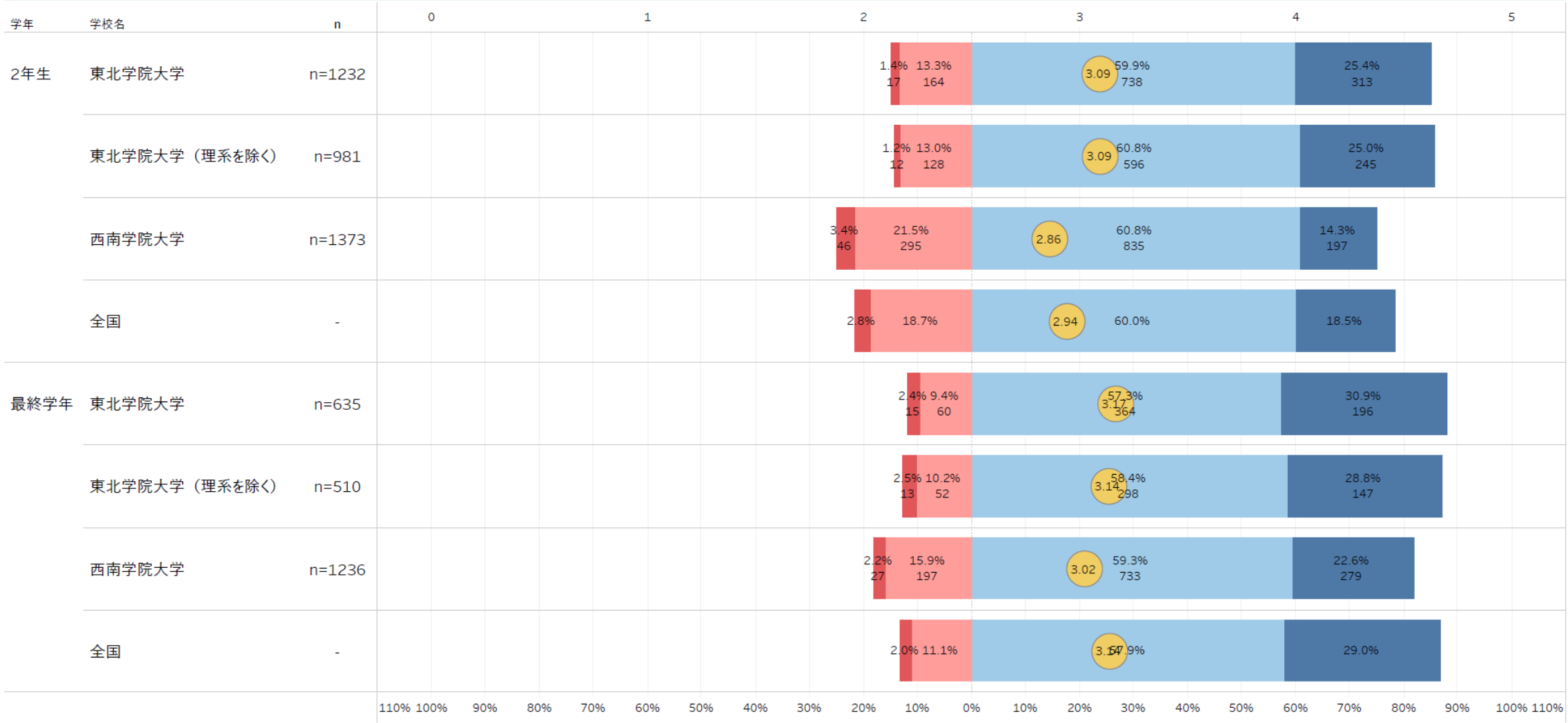
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_8.問題を見つけて解決方法を考える力



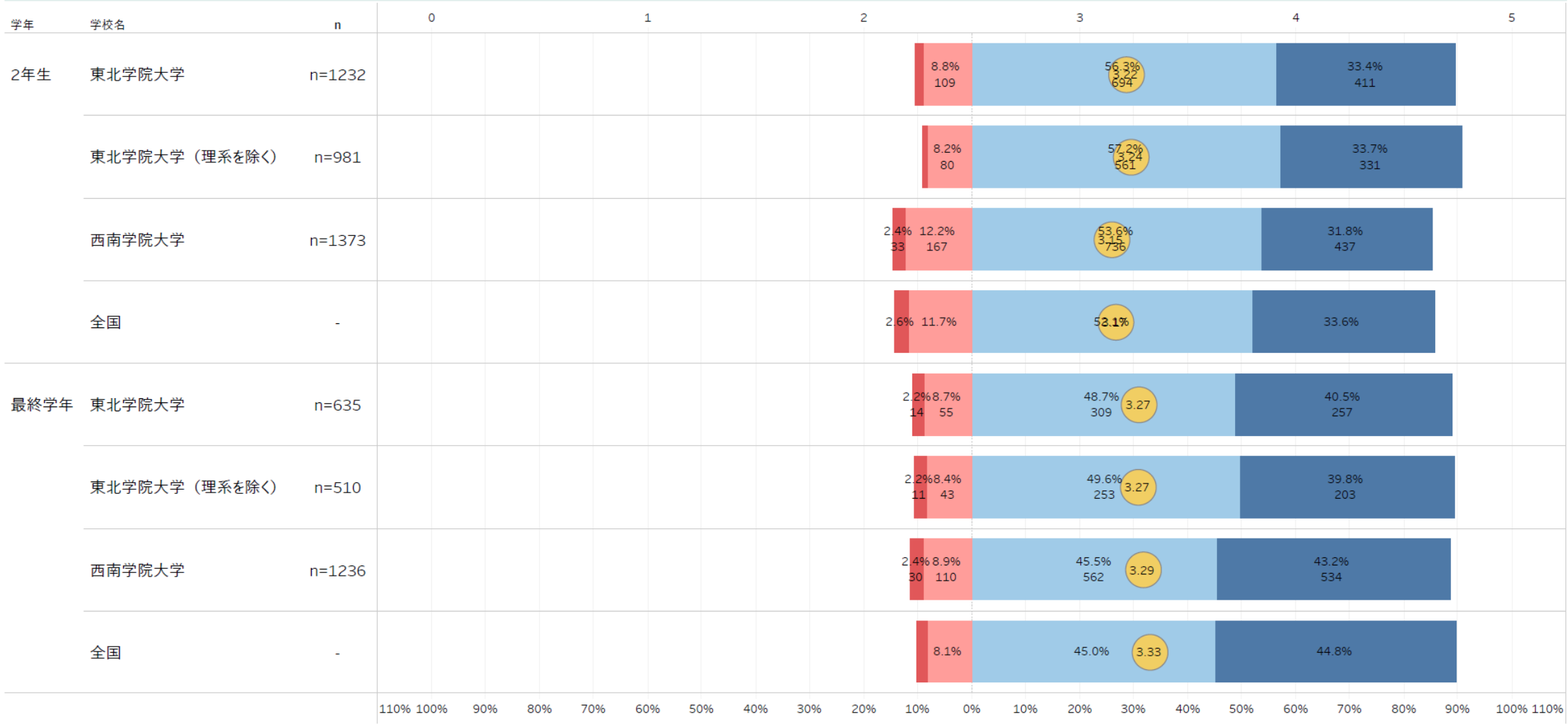
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_9.他者と協働する力



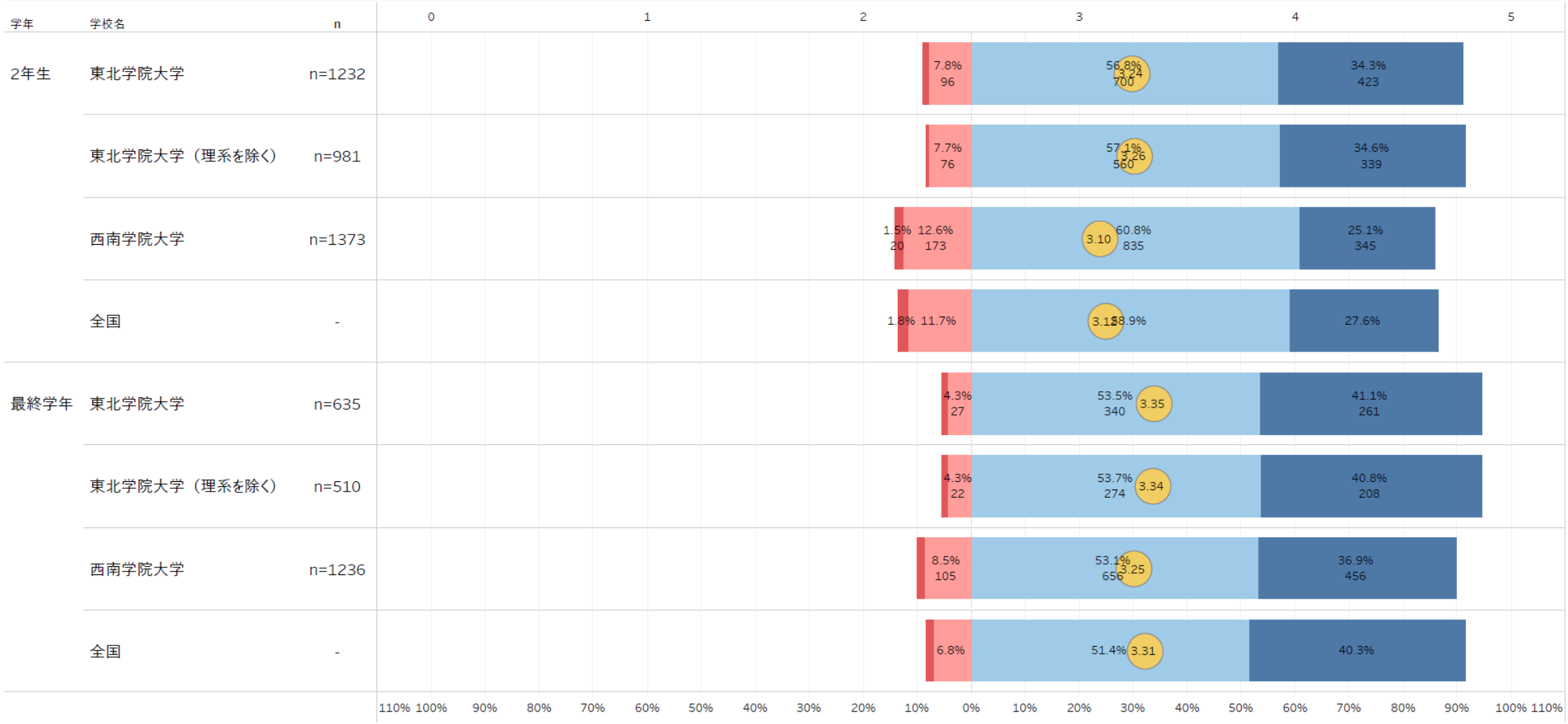
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_10.幅広い知識、ものの見方



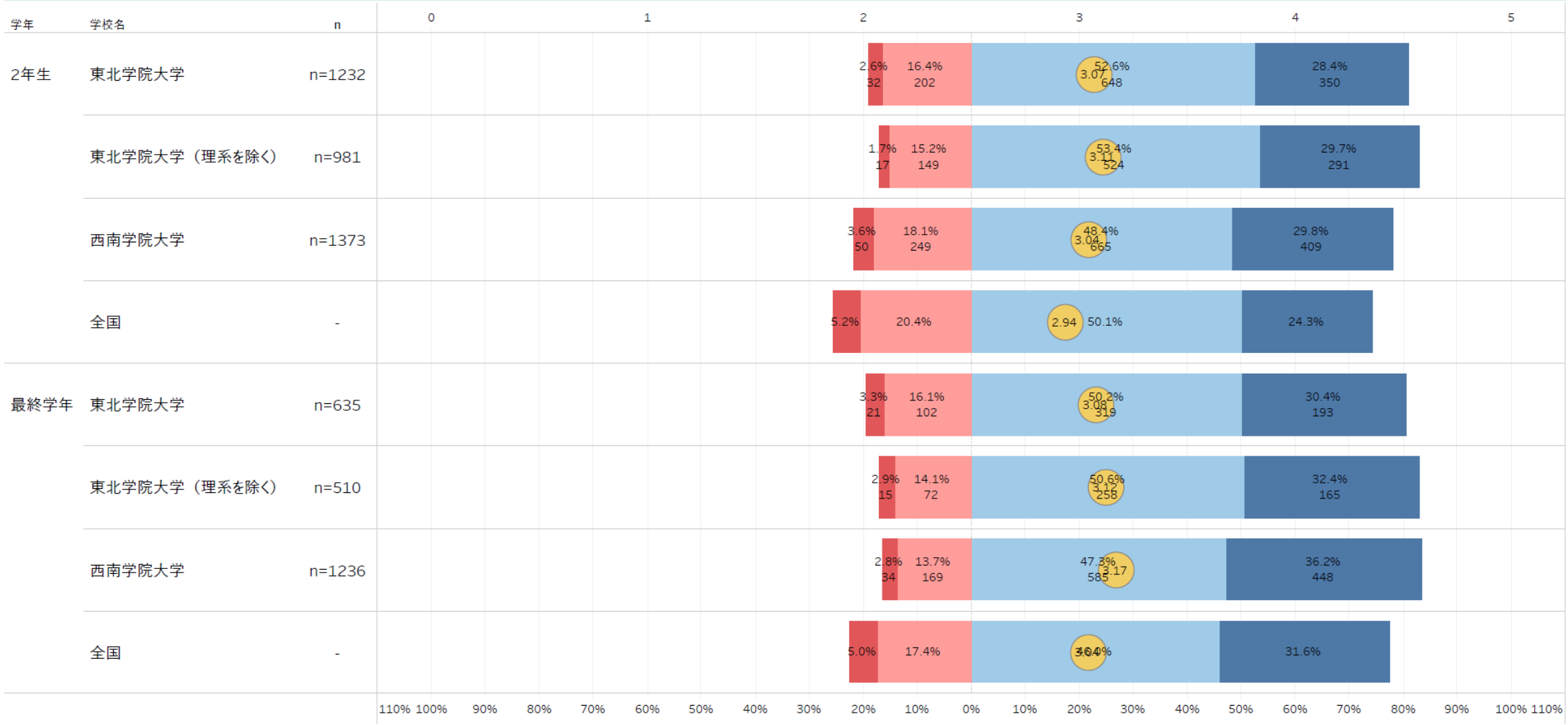
■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか
問3_11.異なる文化に関する知識・理解



■身に付いていない(1点) ■あまり身に付いていない(2点) ■ある程度身に付いた(3点) ■身に付いた(4点) ●平均スコア

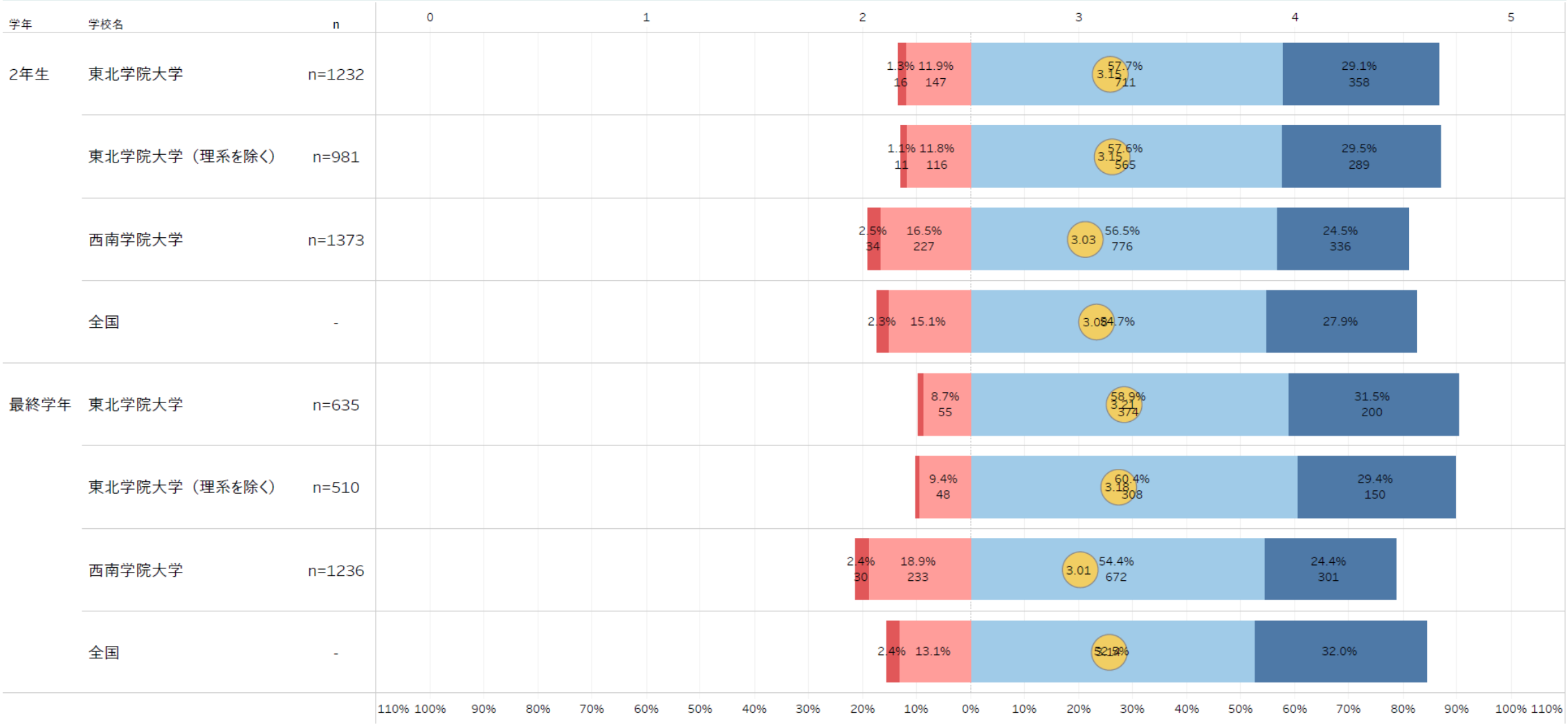
※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか

問4_1.卒業時までに身に付けるべき知識や能力を意識して学修している



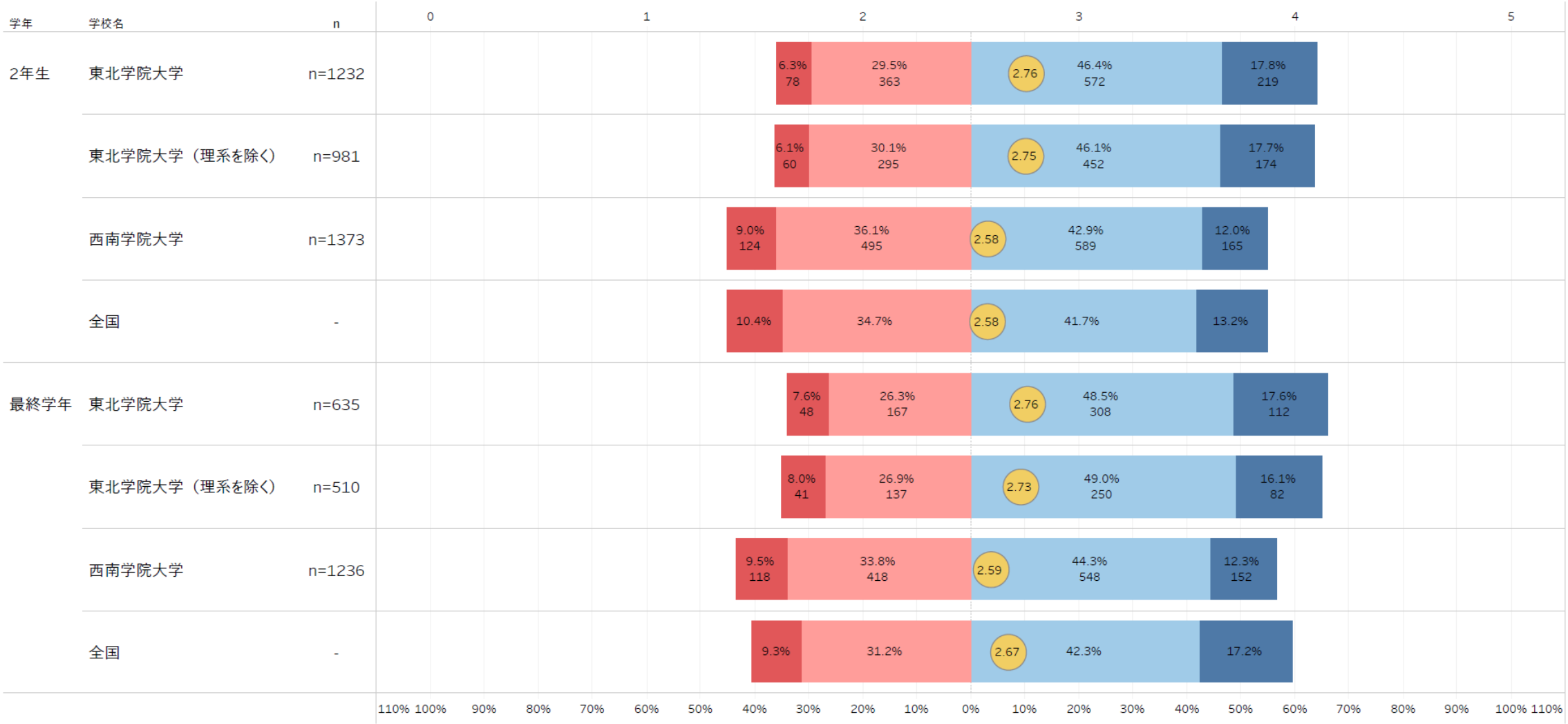
■そうは思わない(1点) ■あまりそうは思わない(2点) ■ある程度そう思う(3点) ■そう思う(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか
問4_2.授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている



■そうは思わない(1点) ■あまりそうは思わない(2点) ■ある程度そう思う(3点) ■そう思う(4点) ●平均スコア

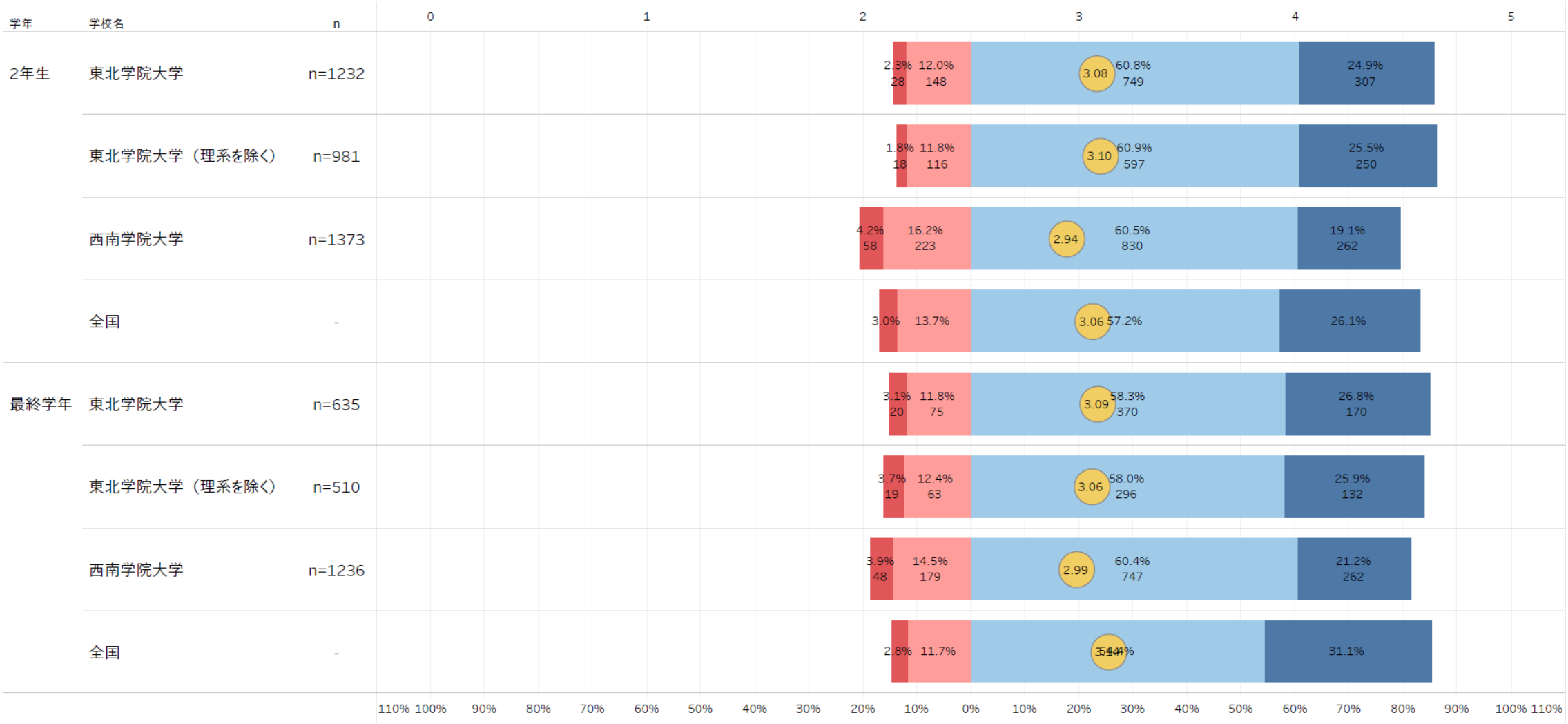
※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか

問4_3.教職員が熱心に教育に取り組んでいる



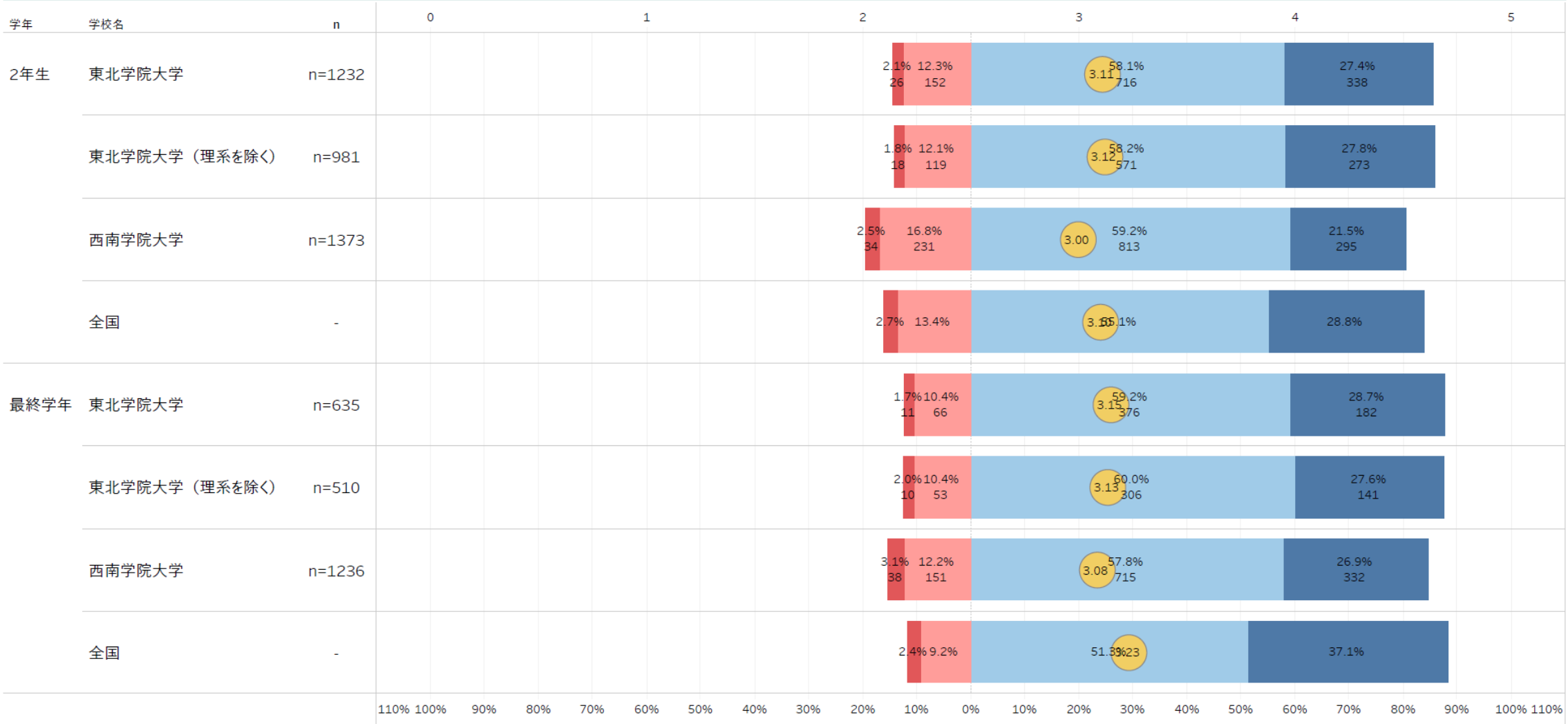
■そうは思わない(1点) ■あまりそうは思わない(2点) ■ある程度そう思う(3点) ■そう思う(4点) ●平均スコア

※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

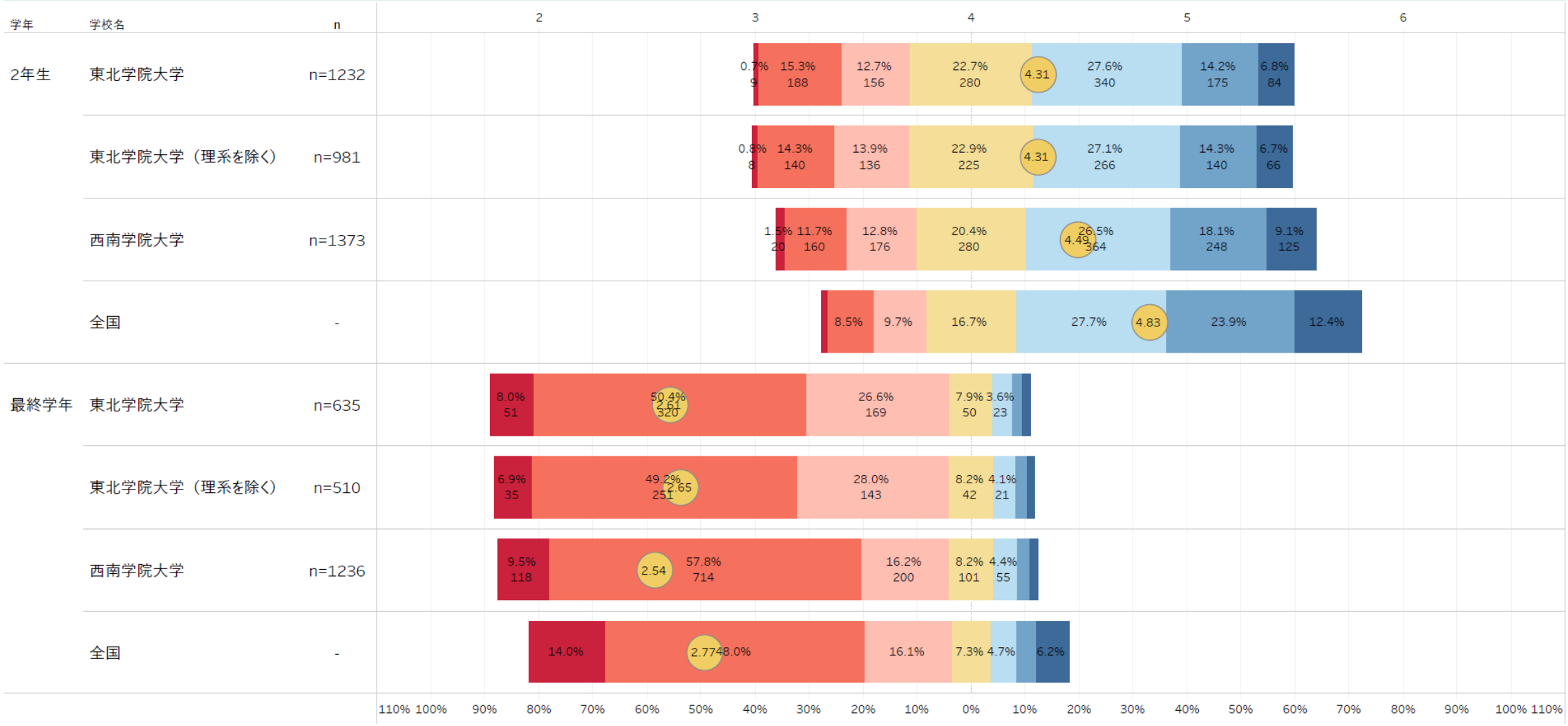
これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか
問4_4.大学の学びによって成長を実感している



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

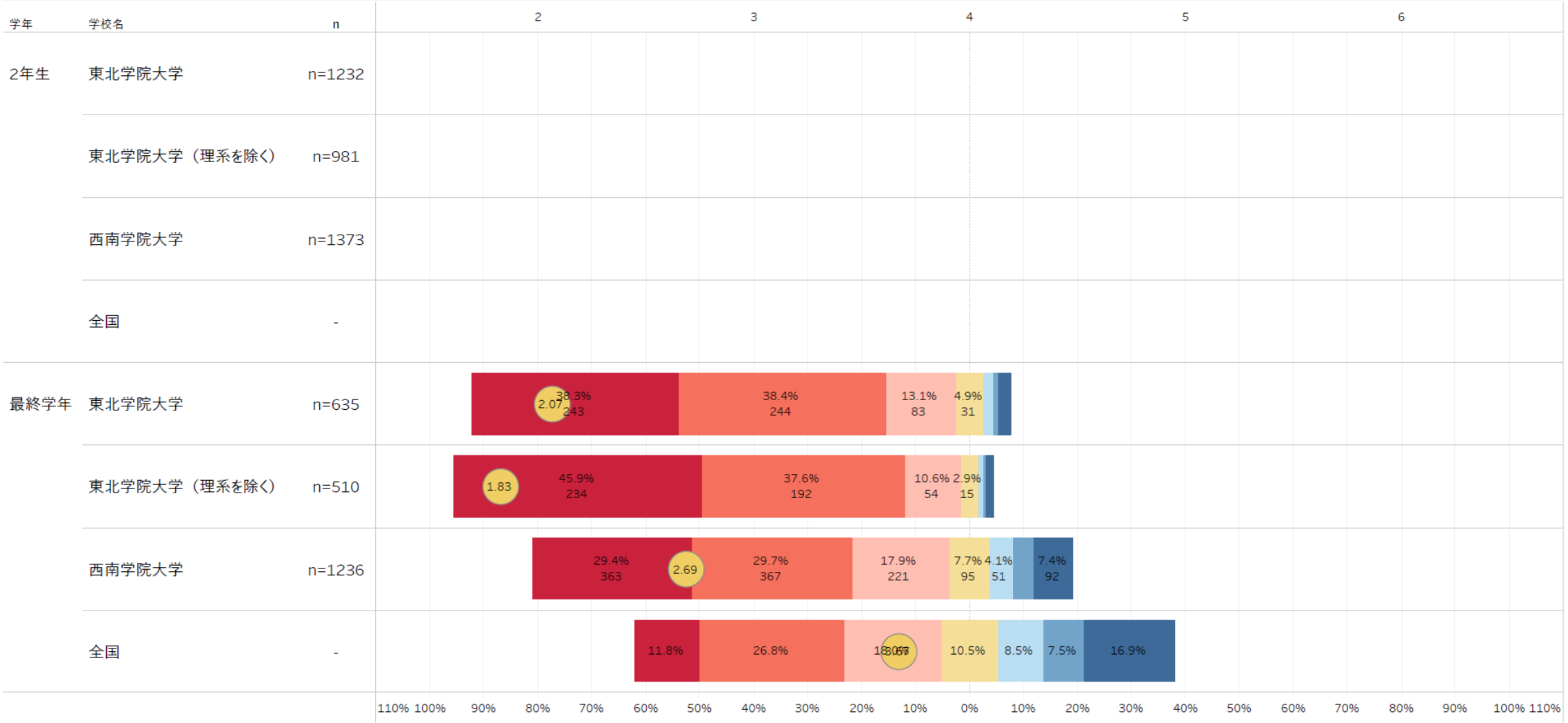
今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか
問5_1.授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

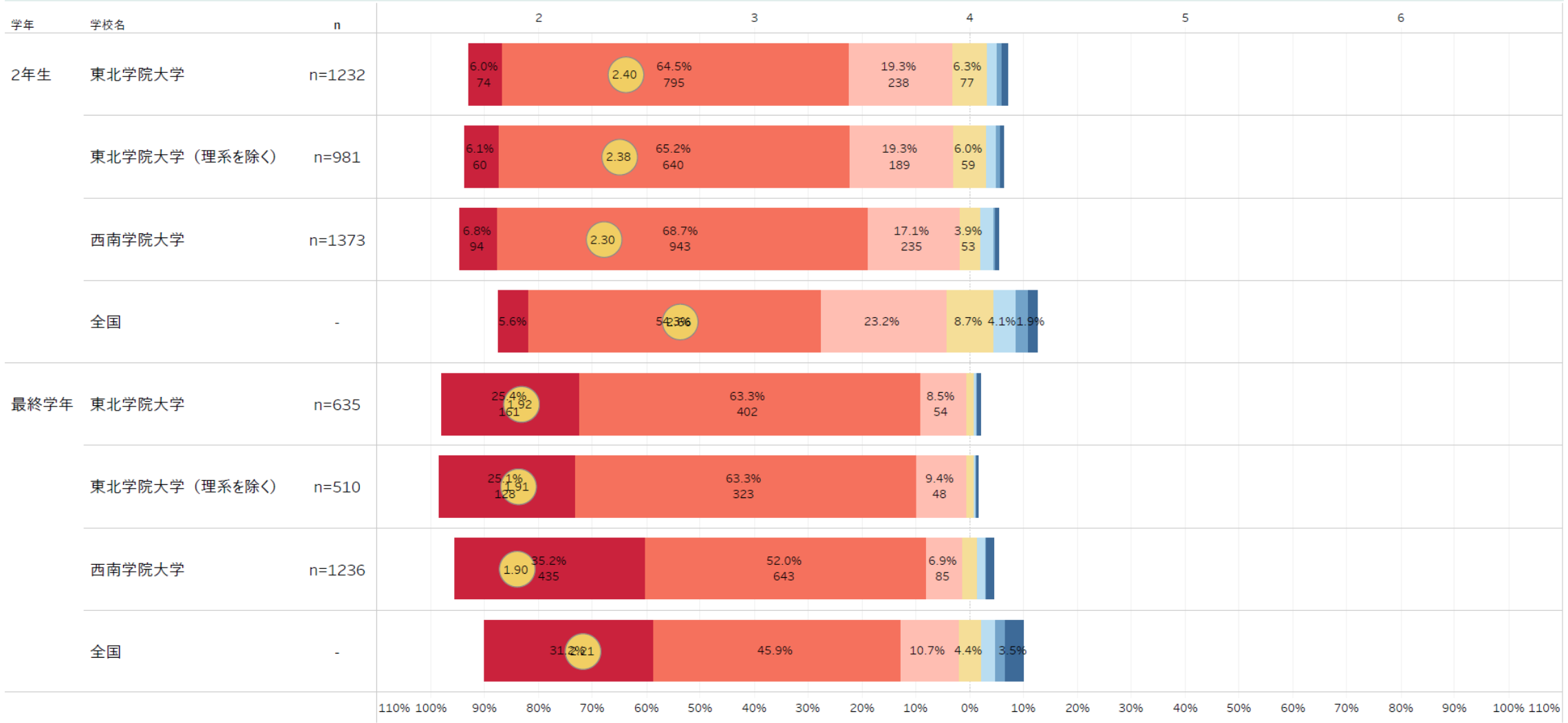
今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか
問5_2.卒業論文・卒業研究・卒業制作



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか
問5_3.予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）

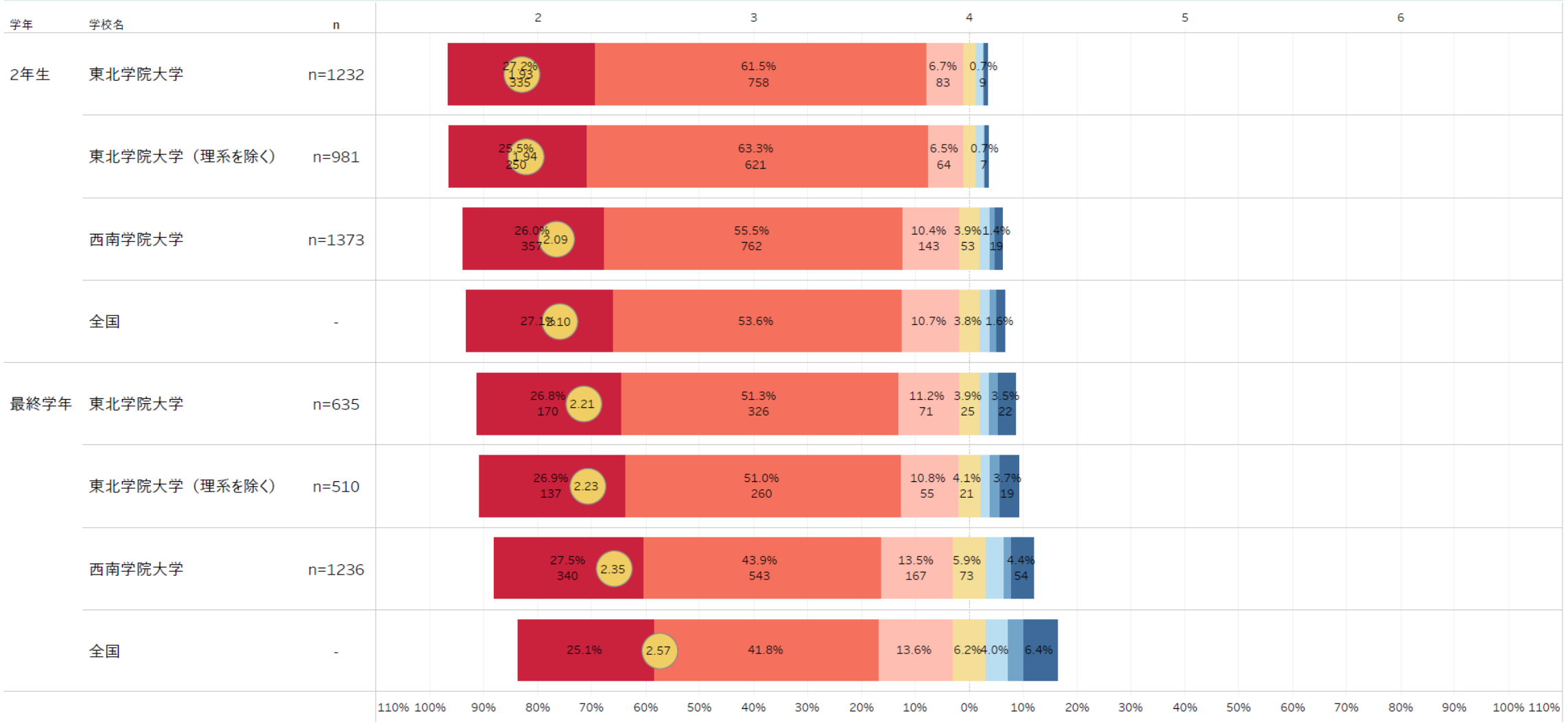


※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか

問5_4.授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）

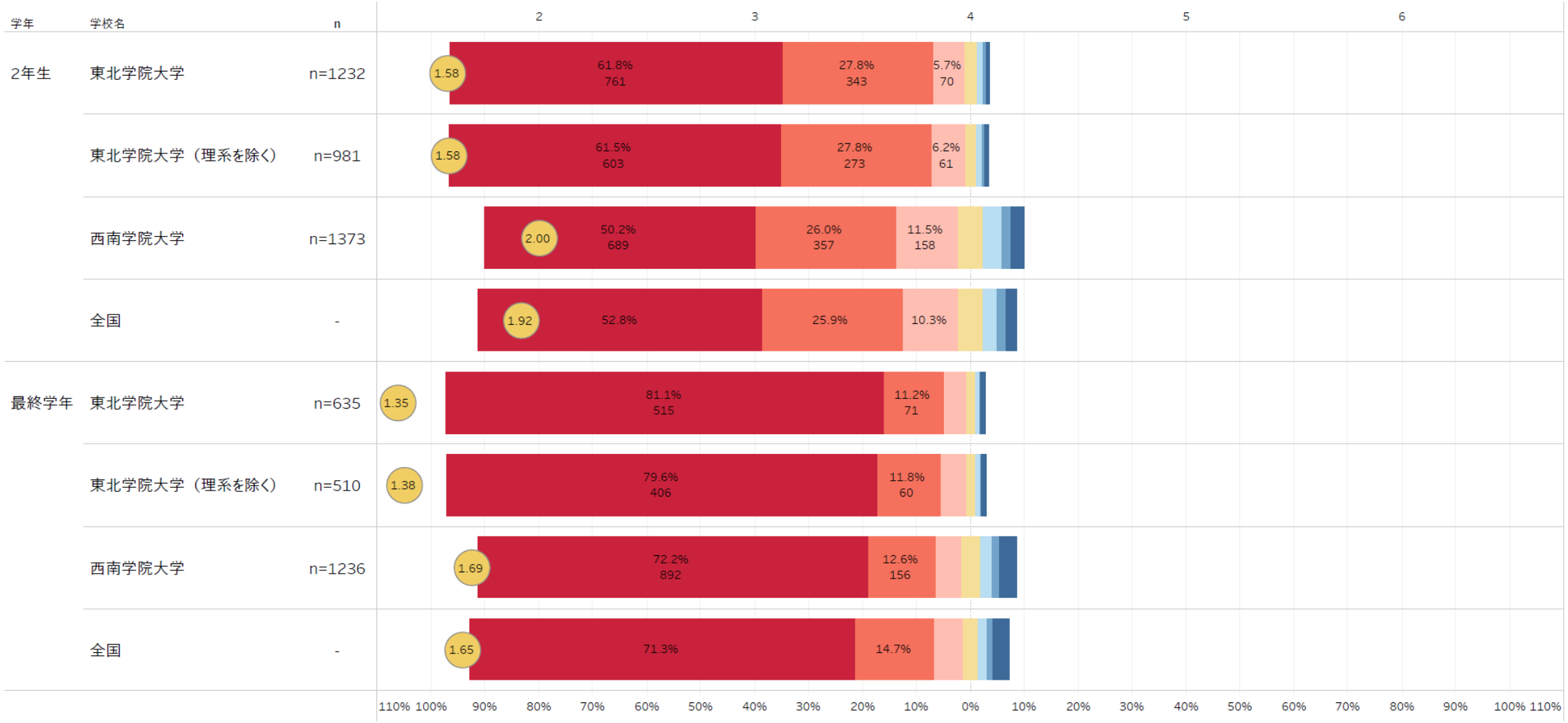


※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す

※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

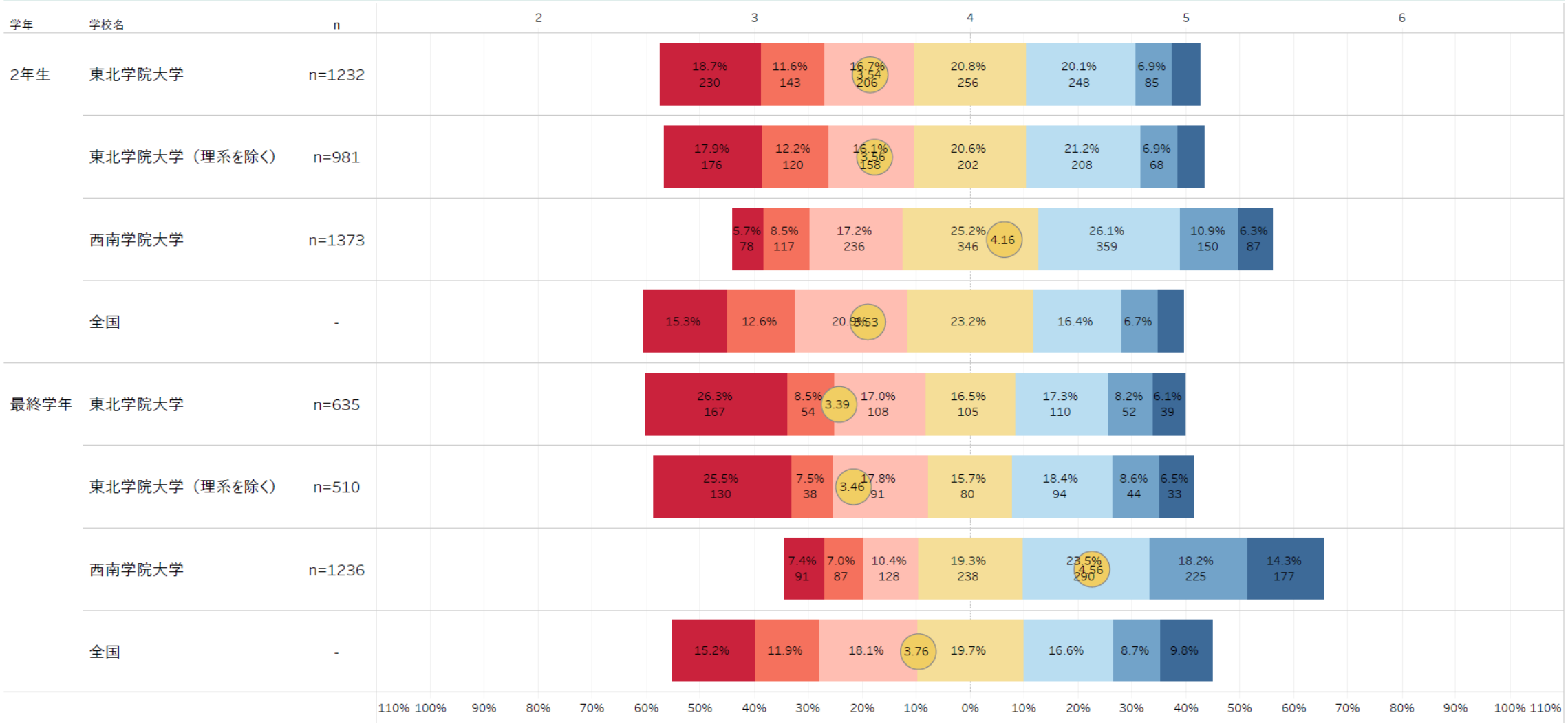
今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか
問5_5.部活動／サークル活動



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development

今年度後期の授業期間中の平均的な１週間（７日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか
問5_6.アルバイト／定職



※数値の上段は回答者割合、 下段は回答者数を示す
※平均スコアは、ポジティブな選択肢に加点する方式で付した点数の平均を示している

©Tohoku Gakuin University
Office of Higher Education Development